

南相馬市 住民意向調査 報告書

令和2年3月

復興庁
福島県
南相馬市

南相馬市 住民意向調査

報告書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2）	7
2-1-2 世帯人数	7
2-1-3 現在の住まい（問6）	8
2-1-4 現在の居住地域（問7）	8
2-1-5 現在の住居形態（問8）	9
2-2 将来の意向	10
2-2-1 南相馬市への帰還意向（問16）	10
2-2-2 南相馬市への帰還時期（問18）	11
2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由（問19）	11
2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと （問21）	12
2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、 帰還しない理由（問20）	13
III 調査結果	15
3-1 回答者の属性	17
3-1-1 性別	17
3-1-2 年齢	17
3-1-3 現在の職業（就業形態）	18
3-2 東日本大震災発生時の状況	19
3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区	19
3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域	20

3-2-3	震災発生当時の住居形態	20
3-3	現在の状況	21
3-3-1	現在の住まい	21
3-3-2	現在の居住地域	21
3-3-3	現在の住居形態	22
3-3-4	現在の住まいに居住している理由	23
3-3-5	現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先	24
3-3-6	現在の主な通院先	24
3-3-7	現在の買い物や通院のための主な交通手段	25
3-3-8	現在の住まいでの隣組への加入状況	25
3-3-9	現在参加している地域活動	26
3-3-10	現在のボランティア活動への参加意向	26
3-4	将来の意向	27
3-4-1	南相馬市への帰還意向	27
3-4-2	南相馬市での今後の定住先	32
3-4-3	南相馬市への帰還時期	33
3-4-4	南相馬市への帰還時期の理由	34
3-4-5	南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、 帰還しない理由	35
3-4-6	南相馬市への帰還を判断するために必要なこと	36
3-5	全世帯員の意向	37
3-5-1	続柄	37
3-5-2	性別	38
3-5-3	年齢	38
3-5-4	今後の住まいの意向	39
3-5-5	南相馬市への帰還時期	40
3-6	意見・要望	41
3-6-1	意見に係る記入内容の分類結果	42
3-6-2	生活について	43
3-6-3	震災発生前の居住地について	44
3-6-4	賠償について	45
3-6-5	帰還について	46
3-6-6	避難期間中及び将来の住宅について	47
3-6-7	除染について	48
3-6-8	復旧・復興について	49
3-6-9	原発の安全性について	50

3-6-10	原発事故に対する対応について	51
3-6-11	その他	52
IV	●考資料	53
4-1	使用調査票	55
4-1-1	初回調査	55
4-1-2	追加調査	67

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた南相馬市住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	南相馬市
(2) 調査対象と標本数	避難指示区域に指定された地域の世帯の代表者 4,058 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和元年 9 月 30 日（月）～令和元年 10 月 14 日（月） 令和元年 12 月 2 日（月）～令和元年 12 月 16 日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、南相馬市
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 2,463 世帯（有効回収率 60.7%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

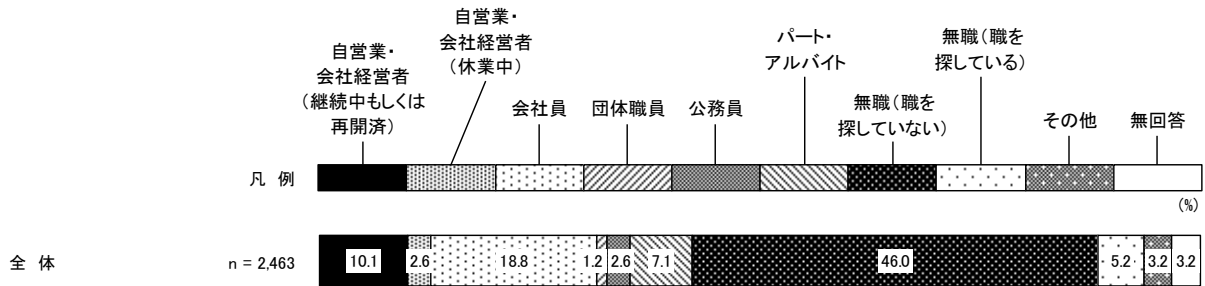
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2）

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員」が18.8%、「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」が10.1%と高くなっている。

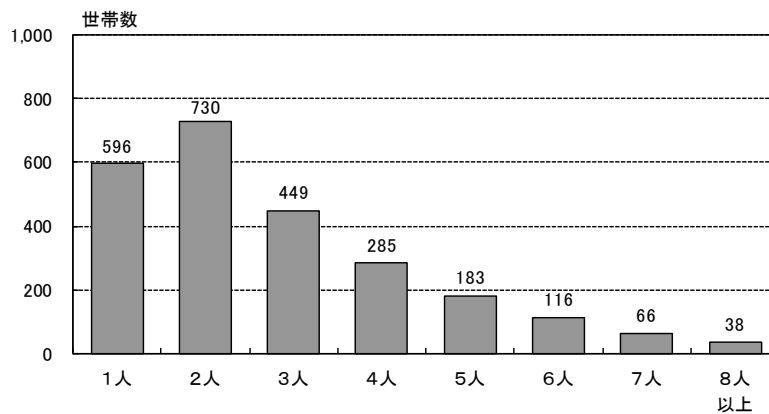
<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>



2-1-2 世帯人数

世帯人数については、「2人」が730世帯と最も多く、次いで「1人」が596世帯、「3人」が449世帯となっている。

<図表2-1-2 世帯人数>



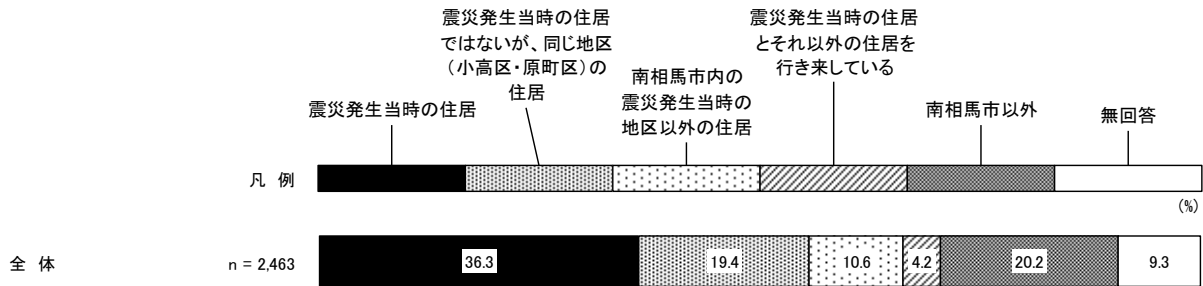
※震災当時、南相馬市に居住していた方のみ

※世帯人数は、「ご家族の現在の状況について」の回答結果より集計

2-1-3 現在の住まい（問6）

現在の住まいについては、「震災発生当時の住居」が36.3%と最も高く、次いで「南相馬市以外」が20.2%、「震災発生当時の住居ではないが、同じ地区（小高区・原町区）の住居」が19.4%となっている。

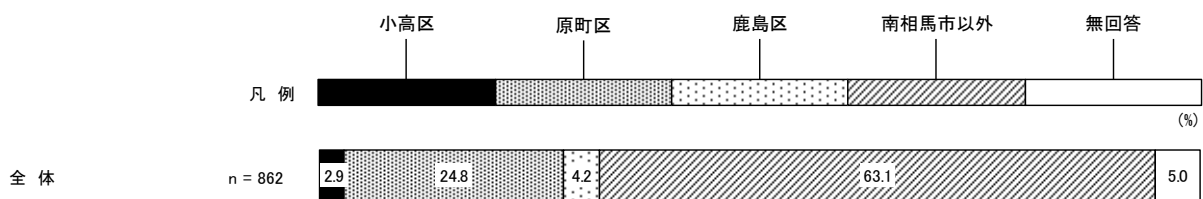
<図表2-1-3 現在の住まい>



2-1-4 現在の居住地域（問7）

現在の居住地域については、「南相馬市以外」が63.1%と最も高く、次いで「原町区」が24.8%となっている。

<図表2-1-4 現在の居住地域>

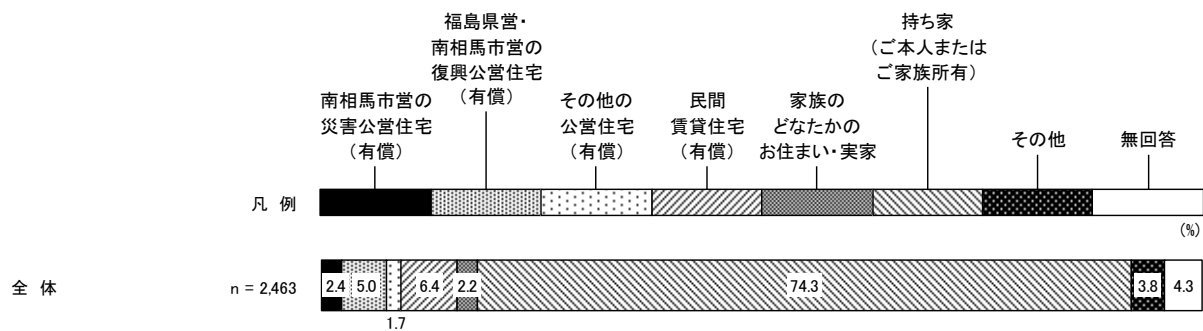


※問6で「南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「震災発生当時の住居とそれ以外の住居を歩き来している」「南相馬市以外」と回答した方のみ

2-1-5 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が74.3%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（有償）」が6.4%、「福島県営・南相馬市営の復興公営住宅（有償）」が5.0%となっている。

<図表2-1-5 現在の住居形態>



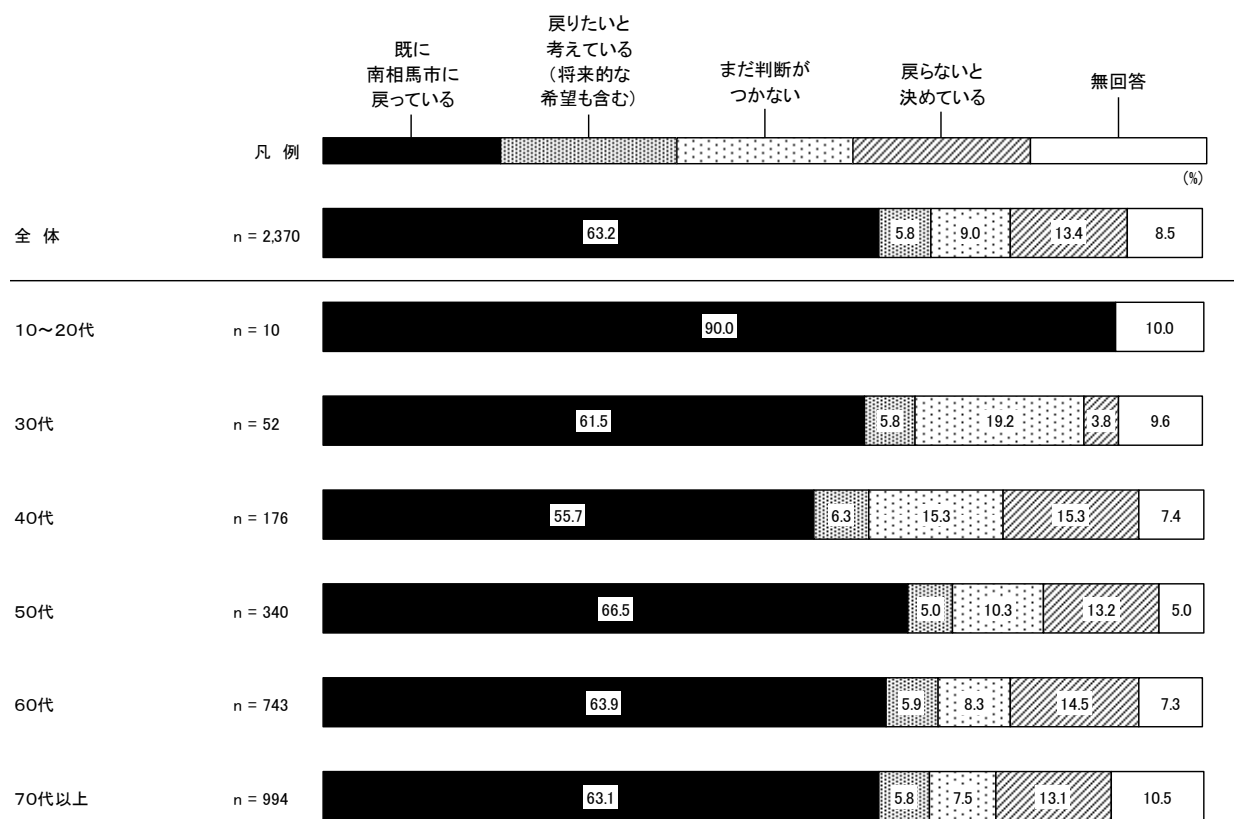
2-2 将来の意向

2-2-1 南相馬市への帰還意向（問 16）

南相馬市への帰還意向については、「既に南相馬市に戻っている」が63.2%と最も高く、次いで「戻らないと決めている」が13.4%、「まだ判断がつかない」が9.0%、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が5.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、「まだ判断がつかない」は30代で約2割を占めており、他の年齢に比べ高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は40代以上の高年齢層で1割以上を占めている。

<図表2-2-1 南相馬市への帰還意向（年齢別）>

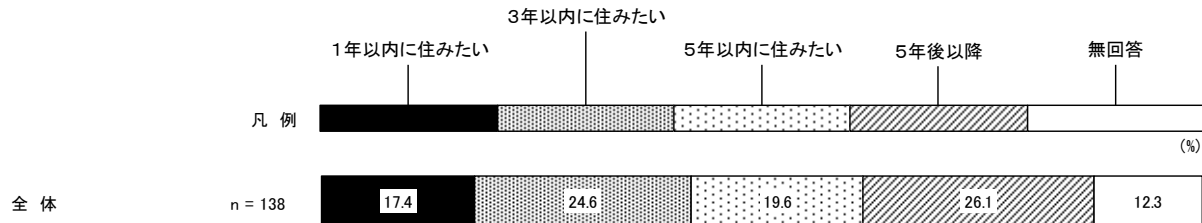


※震災当時、南相馬市に居住していた方のみ

2-2-2 南相馬市への帰還時期（問 18）

南相馬市への帰還時期については、「5年後以降」が26.1%と最も高く、次いで「3年以内に住みたい」が24.6%となっている。

<図表2-2-2 南相馬市への帰還時期>

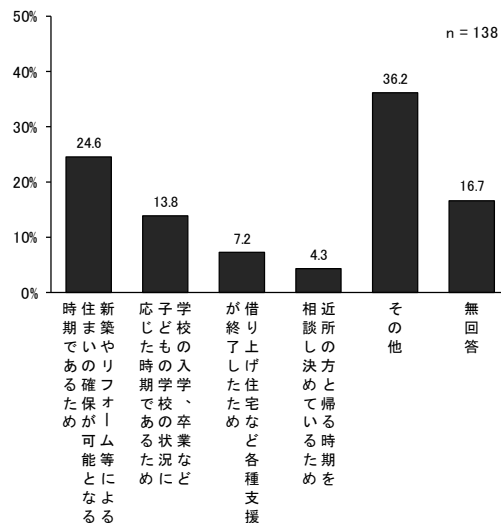


※問 16 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※世帯の代表者の意向

2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由（問 19）

南相馬市への帰還時期の理由については、「新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため」が24.6%と最も高く、次いで「学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため」が13.8%、「借上げ住宅など各種支援が終了したため」が7.2%となっている。

<図表2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由>

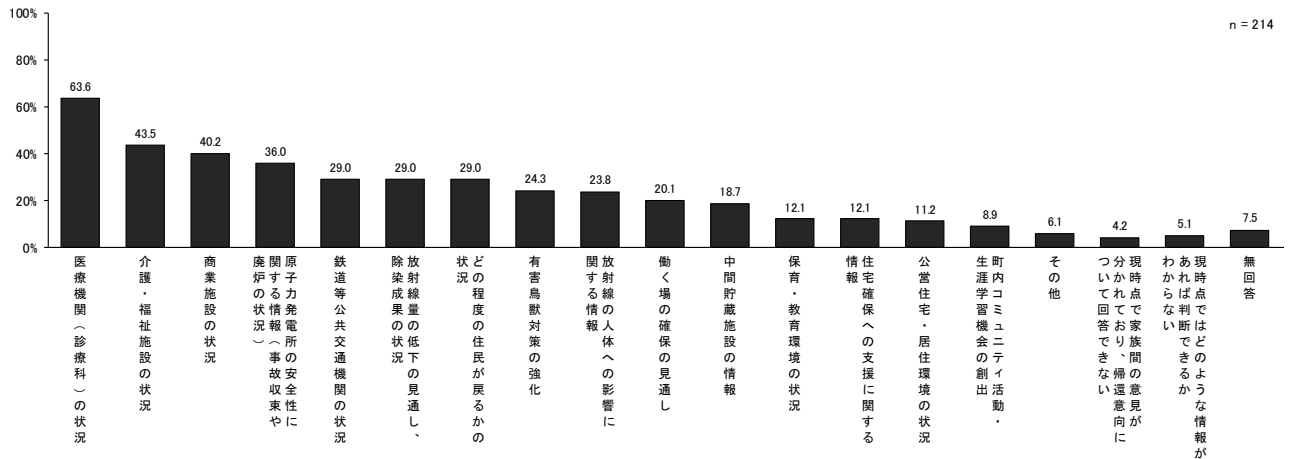


※問 16 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと（問 21）

南相馬市への帰還を判断するために必要なことについては、「医療機関（診療科）の状況」が63.6%と最も高く、次いで「介護・福祉施設の状況」が43.5%、「商業施設の状況」が40.2%となっている。

<図表2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと>



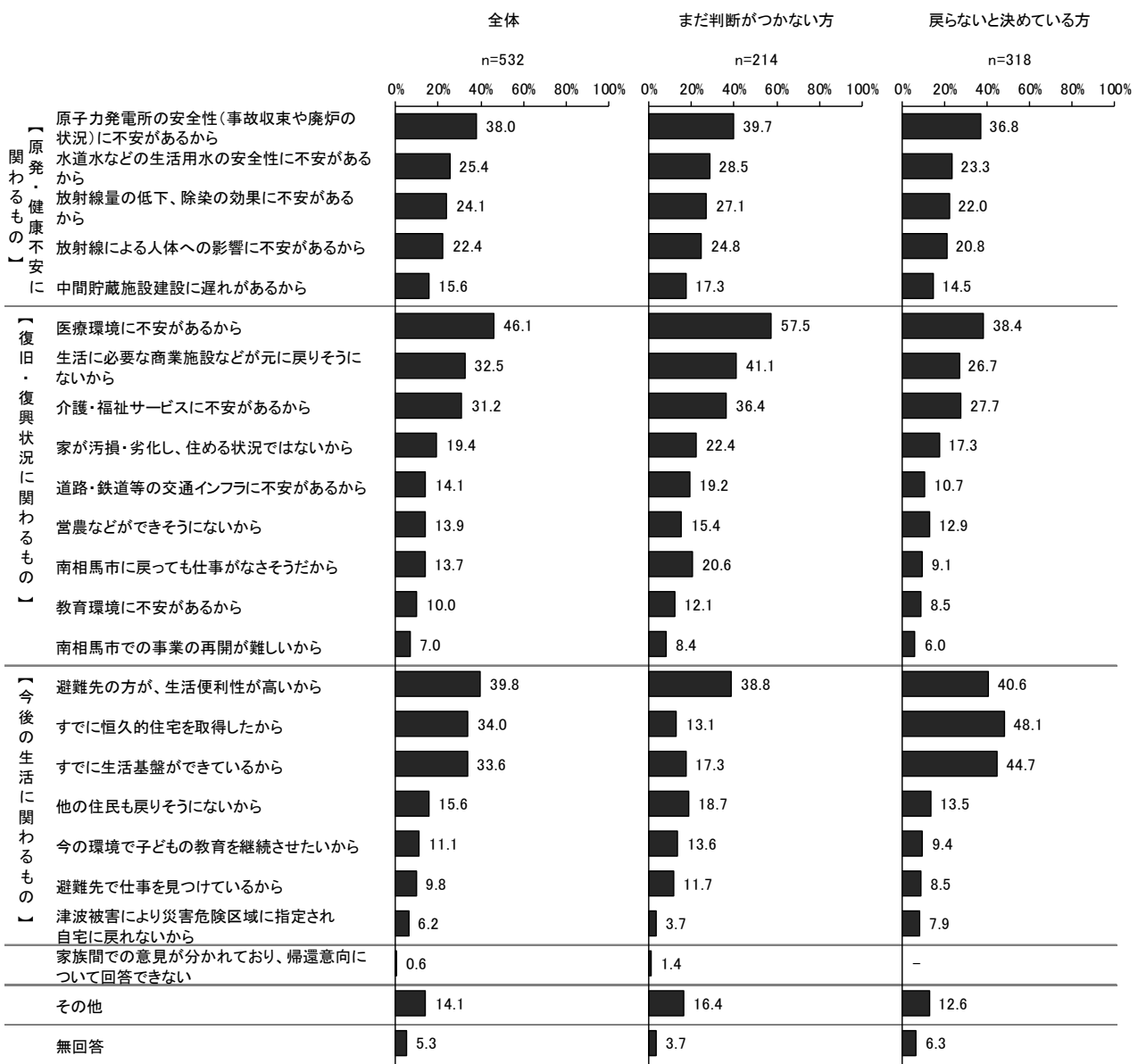
※問 16 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（問 20）

南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由は、全体では「医療環境に不安があるから」が46.1%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活便利が高いから」が39.8%、「原子力発電所の安全性（事故収束や廃炉の状況）に不安があるから」が38.0%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では「医療環境に不安があるから」が57.5%、「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が41.1%と、戻らないと決めている方に比べ高くなっている。一方、戻らないと決めている方では「すでに恒久的住宅を取得したから」、「すでに生活基盤ができていいるから」が約4割～5割と、まだ判断がつかない方に比べ高くなっている。

<図表2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（南相馬市への帰還意向別）>



※問 16 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

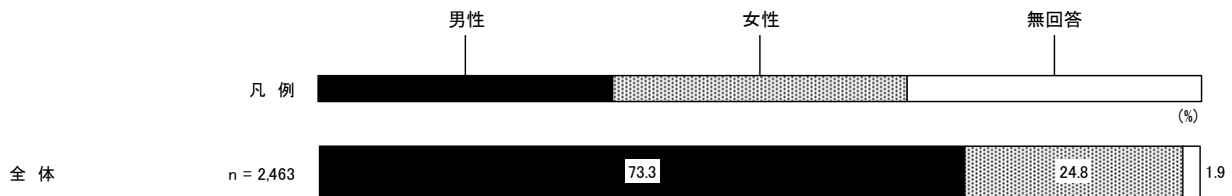
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの性別、年齢について教えてください。(性別)

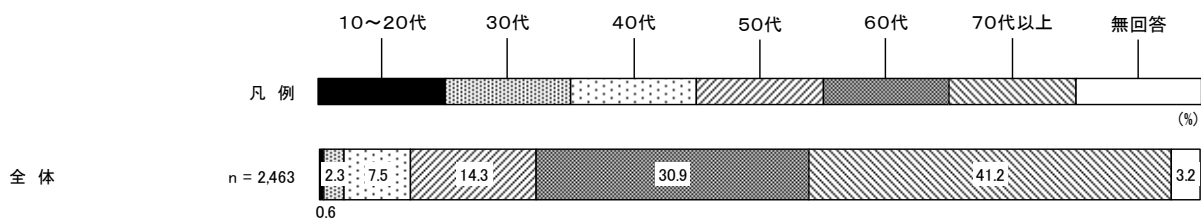
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの性別、年齢について教えてください。(年齢)

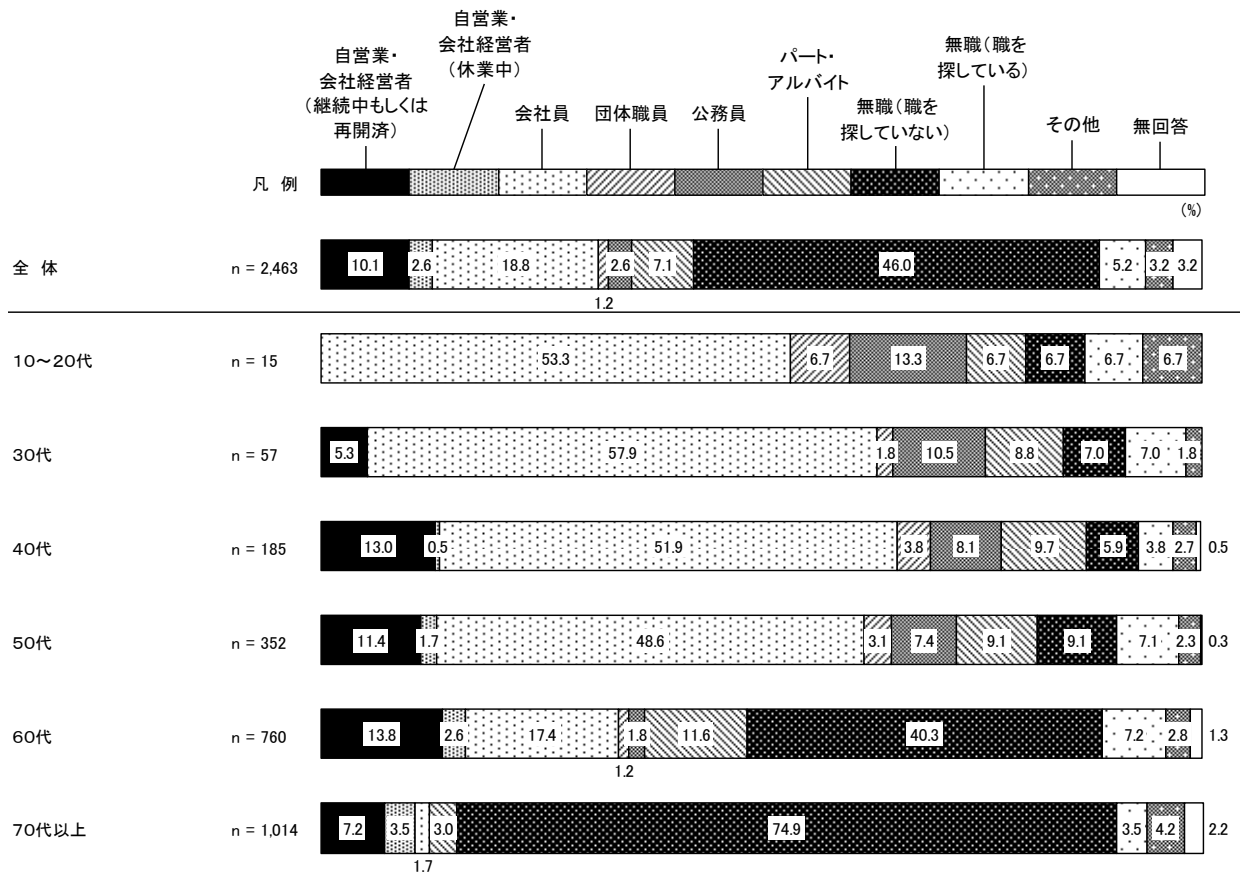
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

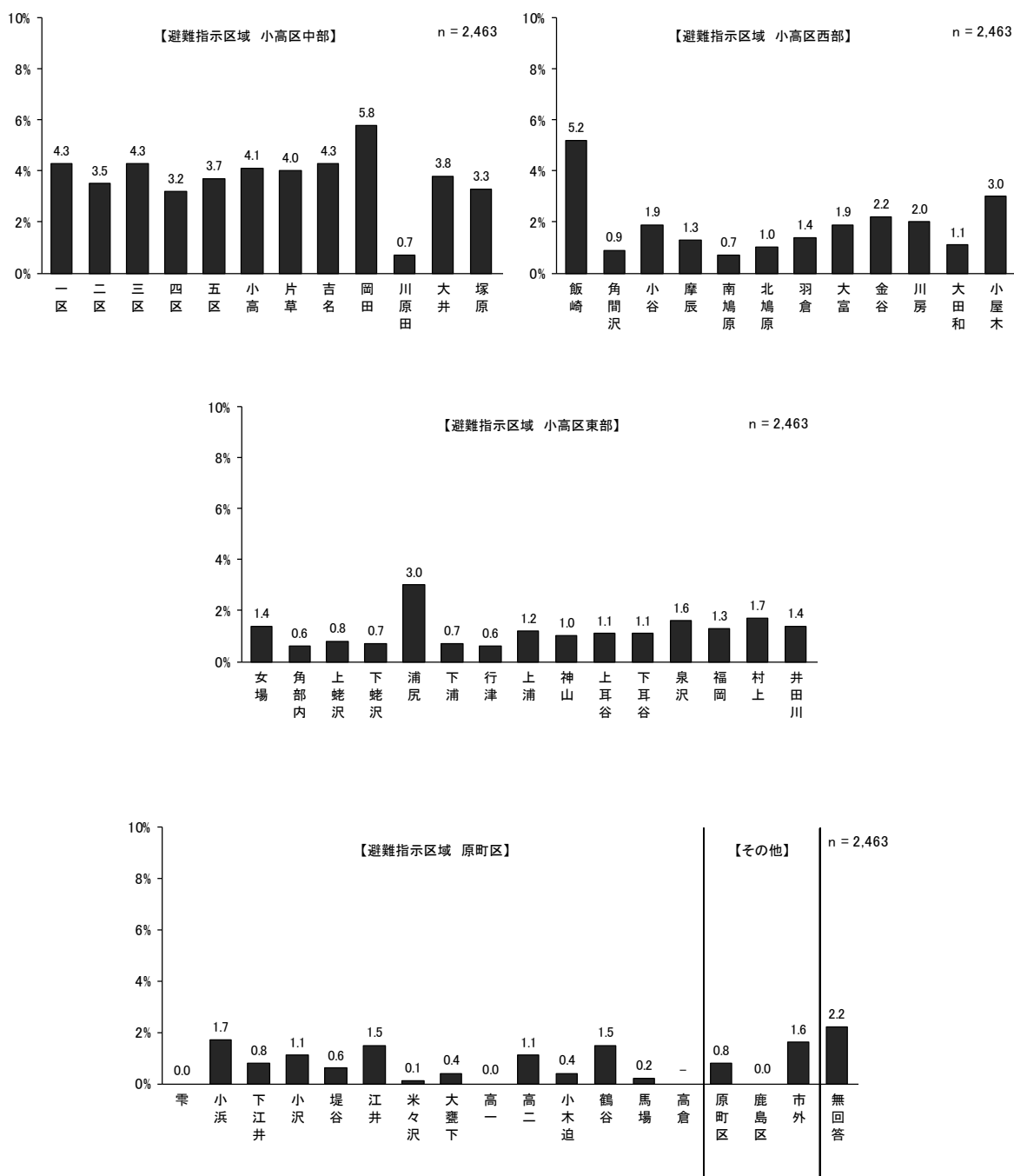


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった居住地を教えてください。(〇は1つ)

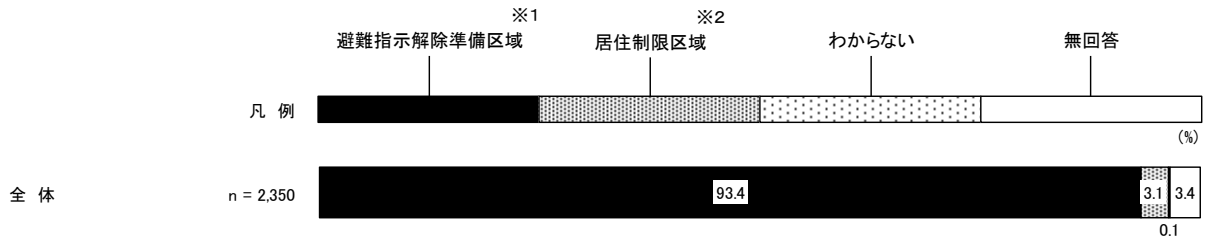
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域

【問3で「54」～「56」以外を回答した方に伺います。】
 問4 震災発生当時のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域>



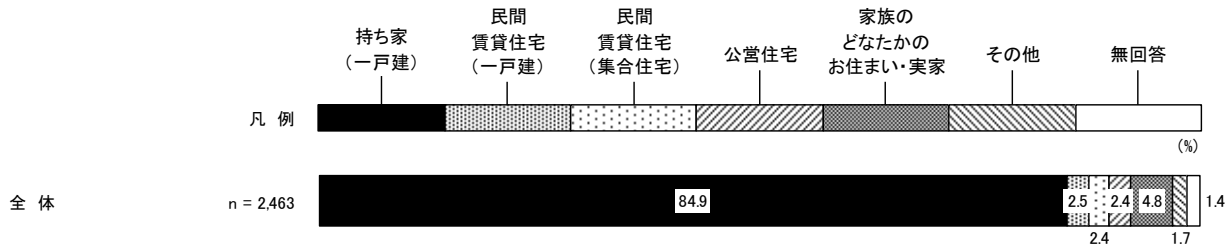
〔その他〕
 帰還困難区域 -

※1 平成28年7月12日に避難指示解除済み
 ※2 平成28年7月12日に避難指示解除済み

3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅形態を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

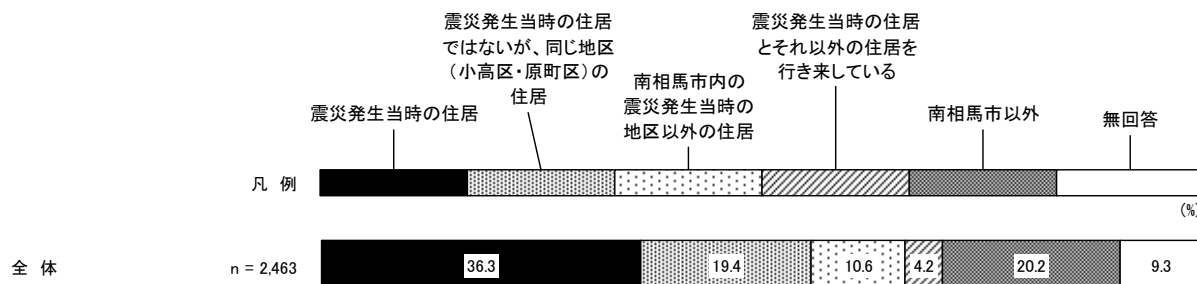
持ち家(集合住宅)	0.4%
給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	0.2%
親戚・知人宅	0.5%
その他	0.6%

3-3 現在の状況

3-3-1 現在の住まい

問6 現在、あなたはどちらにお住まいですか。(〇は1つ)

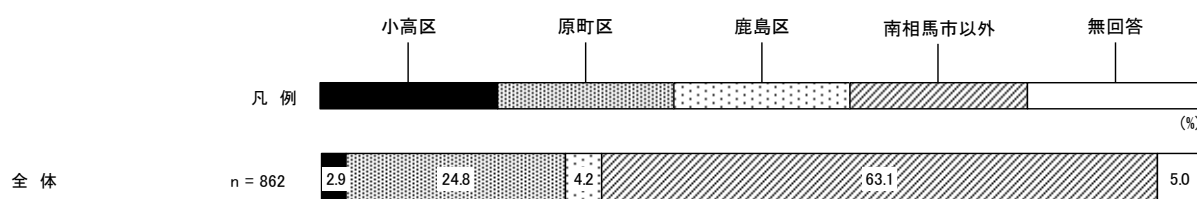
<図表3-3-1 現在の住まい>



3-3-2 現在の居住地域

【問6で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】
 問7 現在、あなたがお住まいの地区を教えてください。(〇は1つ)
 ※「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

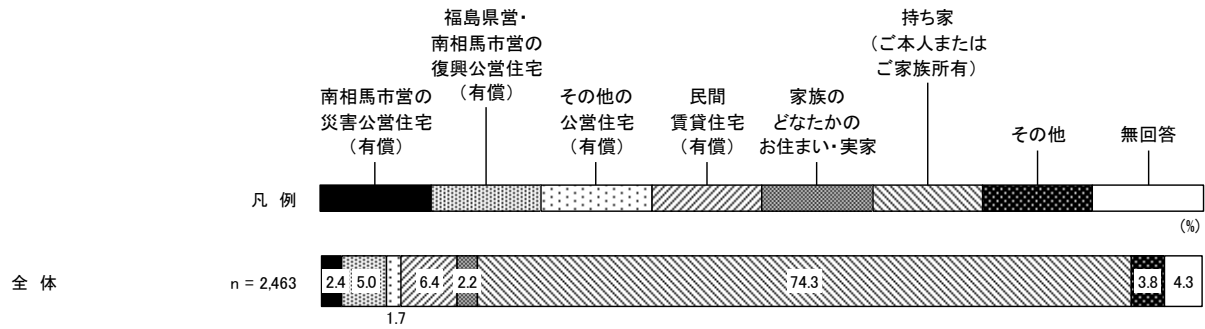
<図表3-3-2 現在の居住地域>



3-3-3 現在の住居形態

問8 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-3 現在の住居形態>



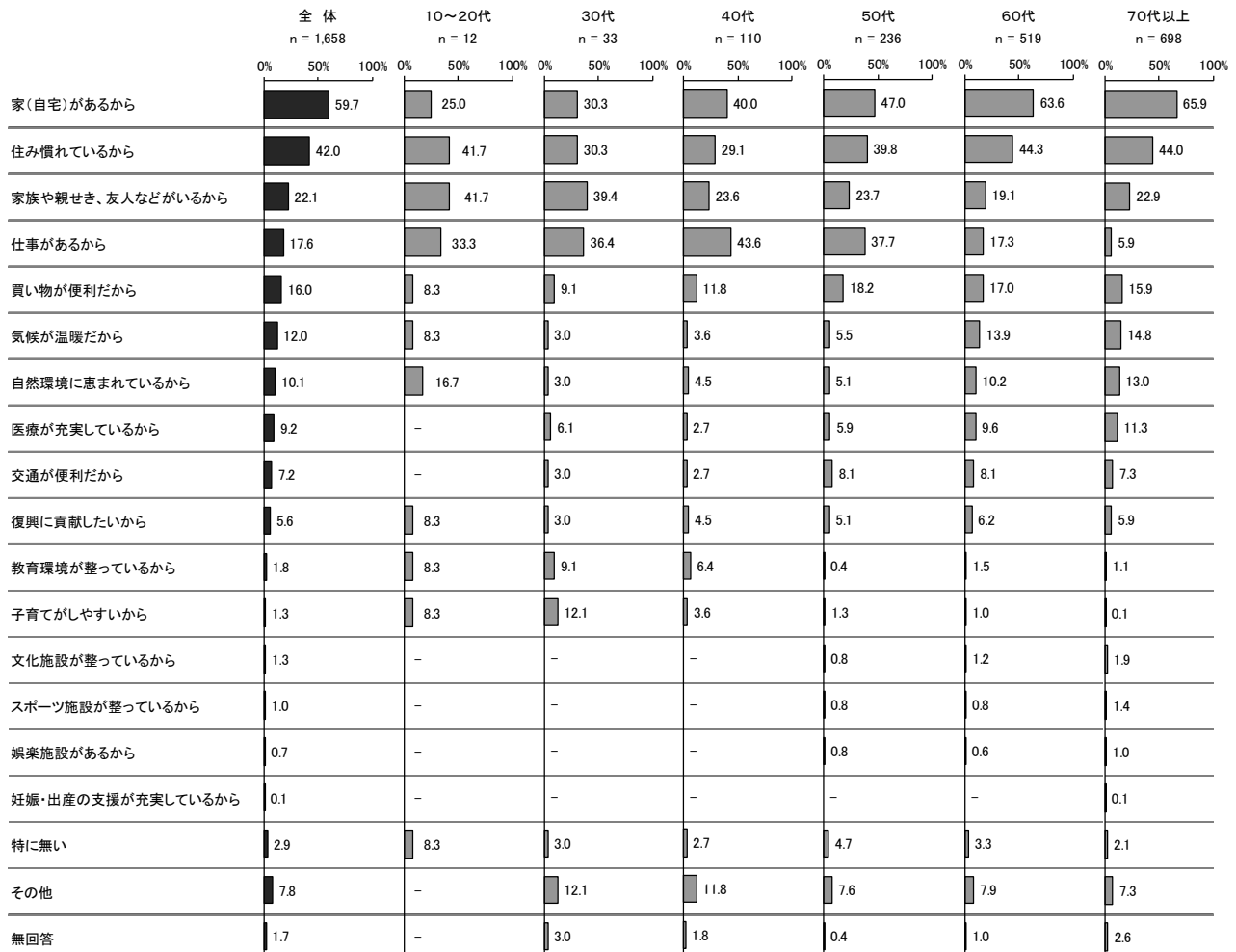
〔その他の内訳〕

応急仮設住宅 (プレハブ型。無償)	0.1%
応急仮設住宅 (民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	0.3%
給与住宅 (社宅、公務員宿舎など)	0.5%
親戚・知人宅	0.9%
その他	2.0%

3-3-4 現在の住まいに居住している理由

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問9 現在の場所にお住まいの理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-3-4 現在の住まいに居住している理由(年齢別)>

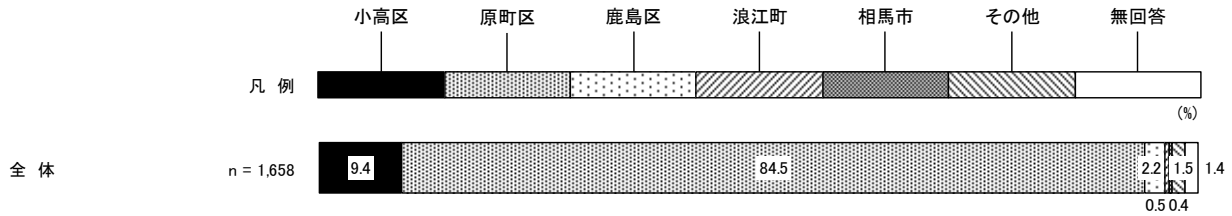


3-3-5 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 10 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-5 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先>

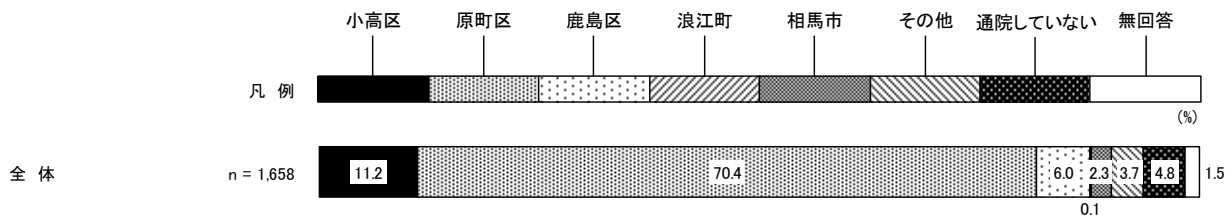


3-3-6 現在の主な通院先

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 11 現在の主な通院先を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-6 現在の主な通院先>

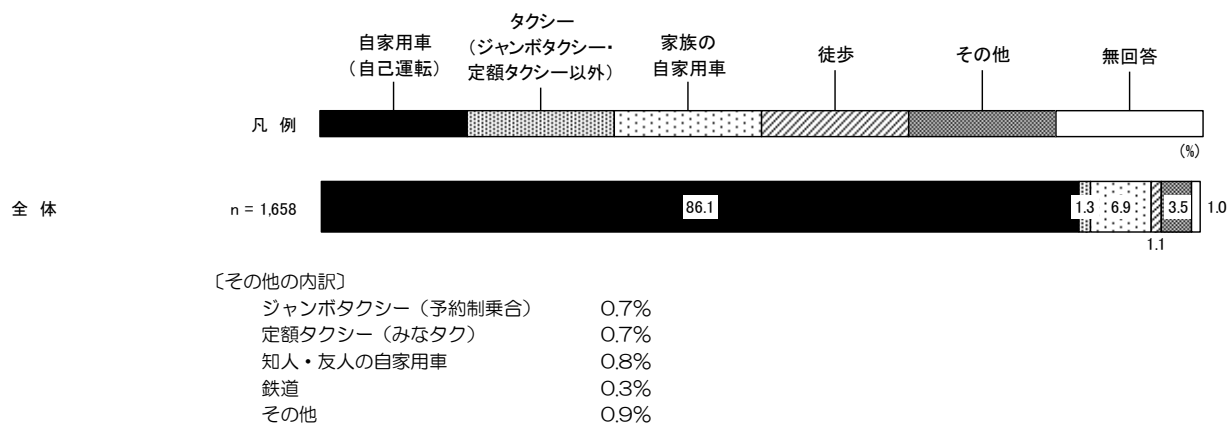


3-3-7 現在の買い物や通院のための主な交通手段

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 12 現在の買い物や通院のための主な交通手段を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-7 現在の買い物や通院のための主な交通手段>

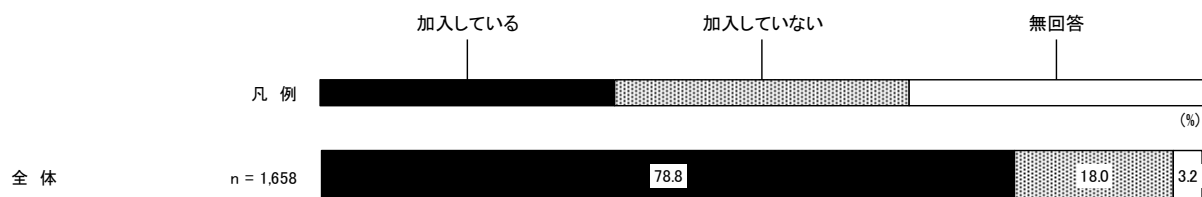


3-3-8 現在の住まいでの隣組への加入状況

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 13 現在お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-8 現在の住まいでの隣組への加入状況>

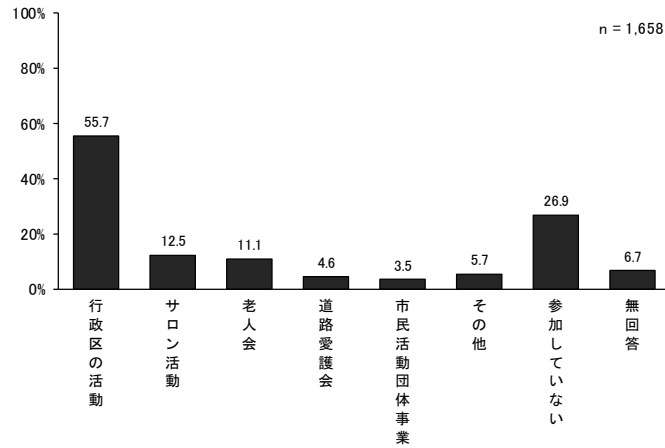


3-3-9 現在参加している地域活動

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 14 現在、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-3-9 現在参加している地域活動>

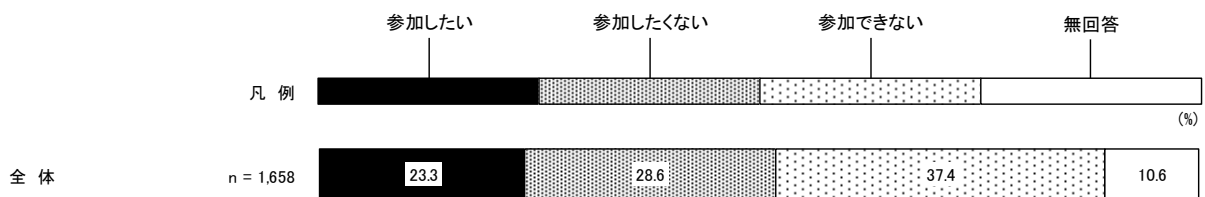


3-3-10 現在のボランティア活動への参加意向

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 15 現在のボランティア活動への参加の意向を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-10 現在のボランティア活動への参加意向>

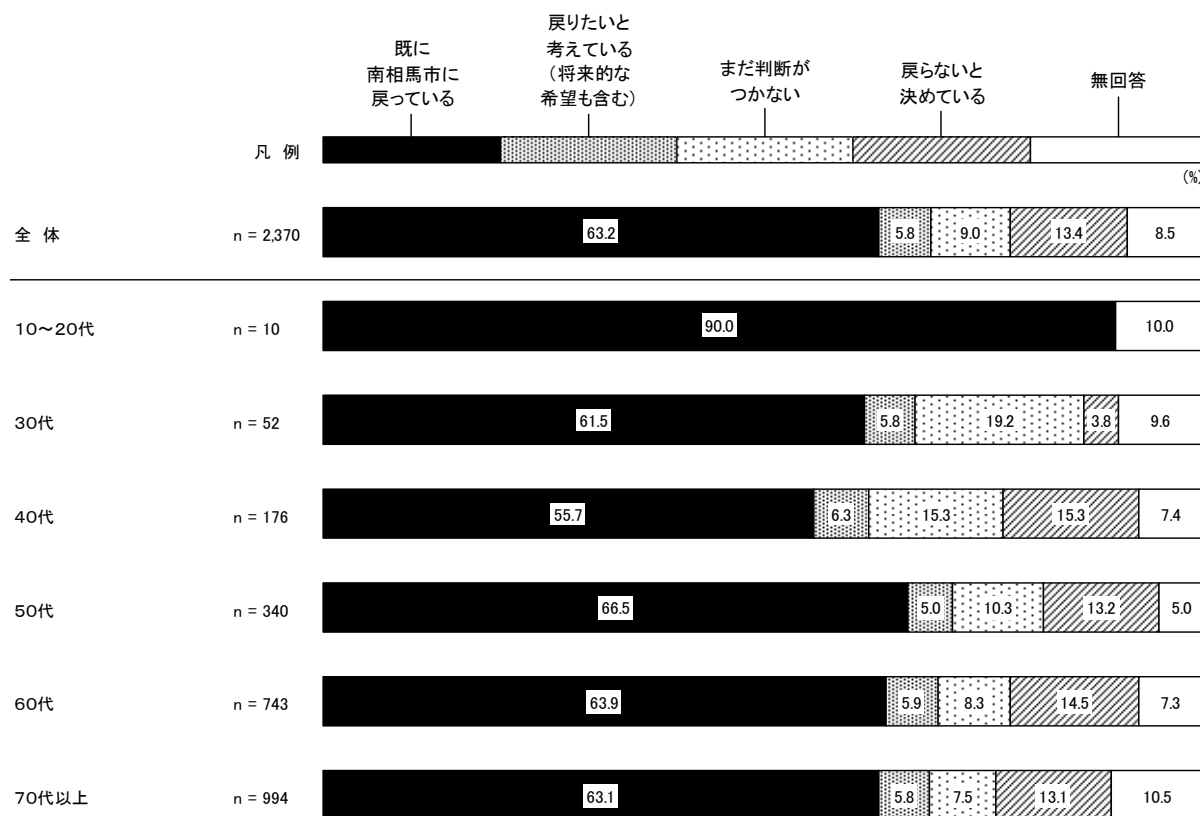


3-4 将来の意向

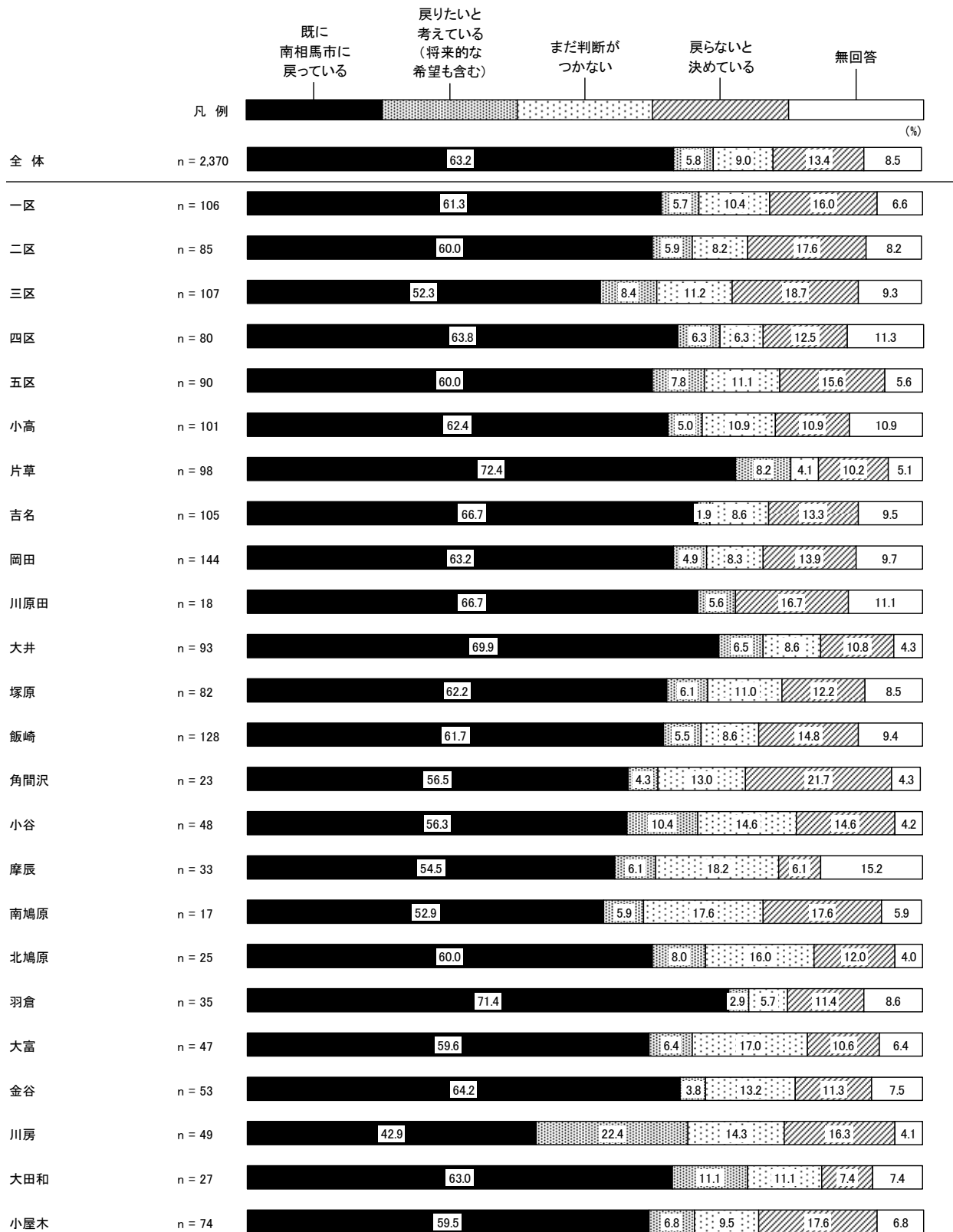
3-4-1 南相馬市への帰還意向

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】
 問 16 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

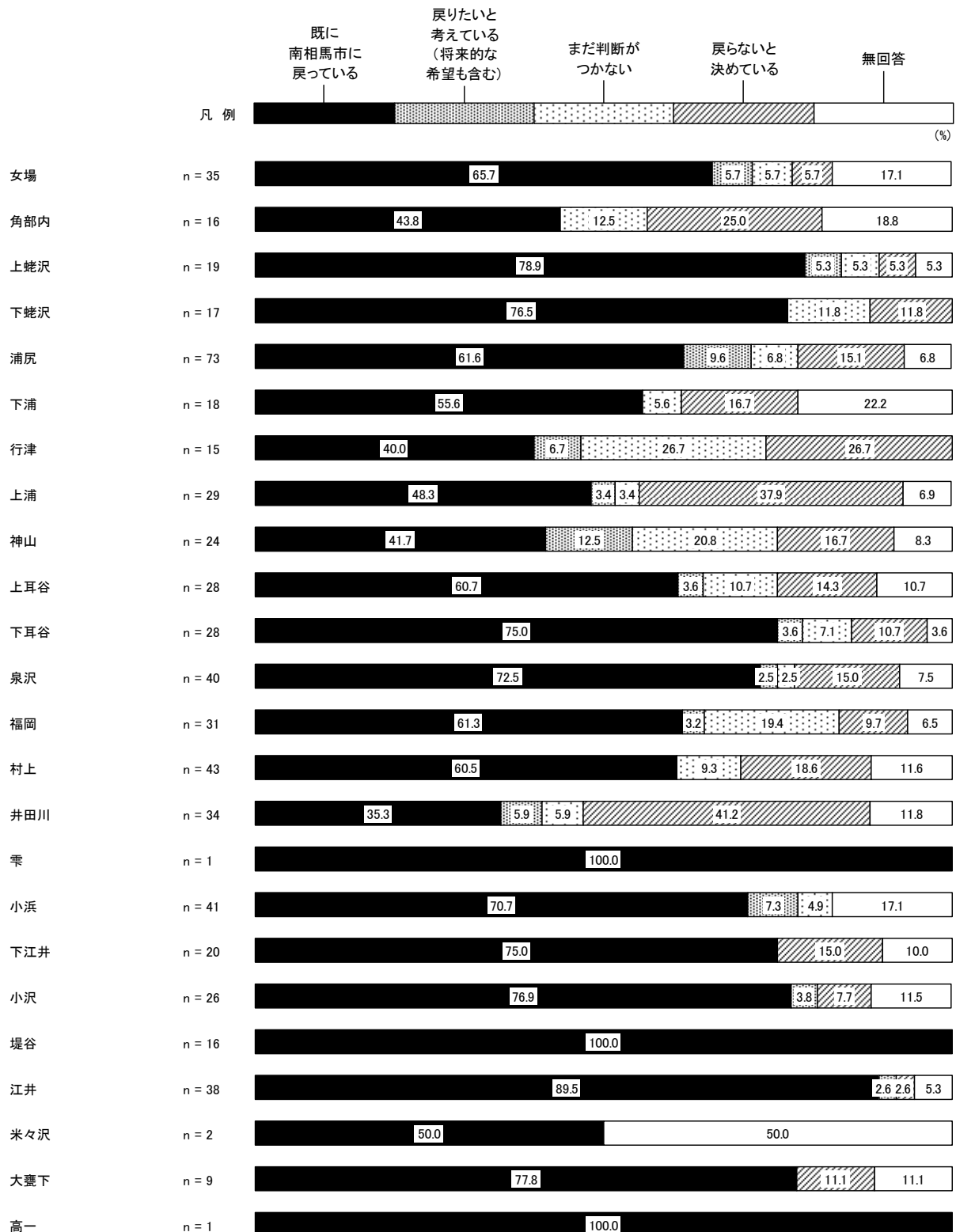
<図表3-4-1-1 南相馬市への帰還意向(年齢別)>



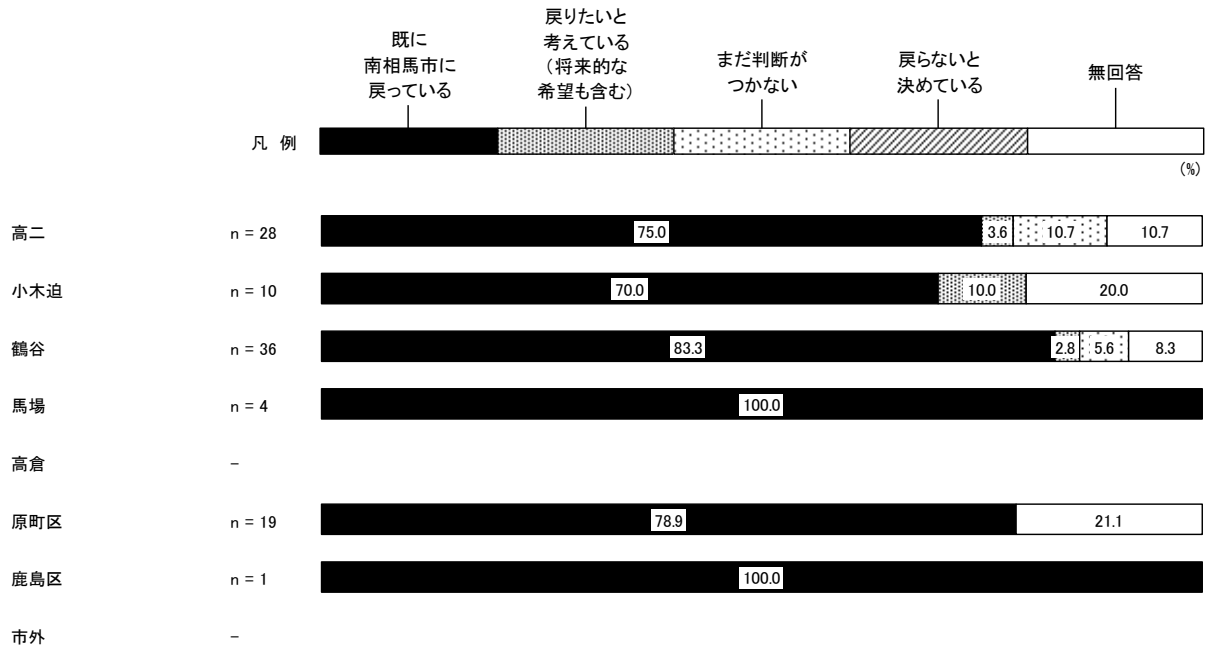
<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



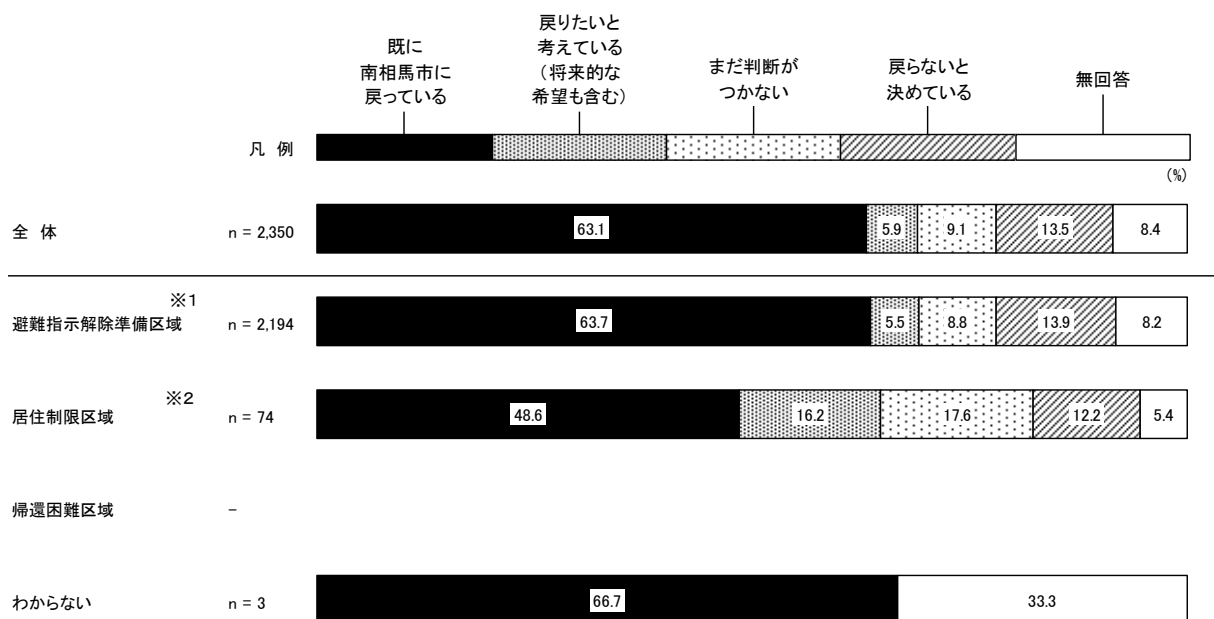
<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別） 続き>



<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



<図表3-4-1-3 南相馬市への帰還意向（避難指示区域別）>



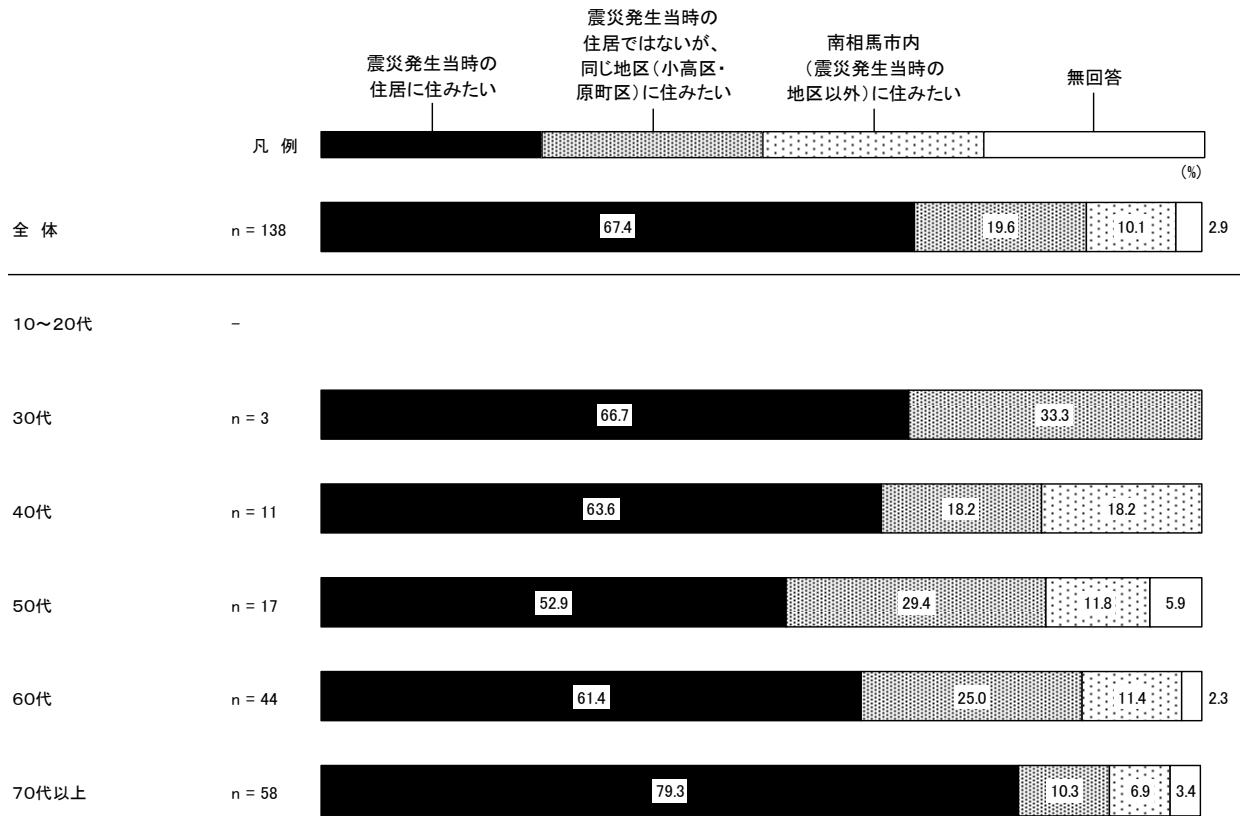
※1 平成28年7月12日に避難指示解除済み

※2 平成28年7月12日に避難指示解除済み

3-4-2 南相馬市での今後の定住先

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 17 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

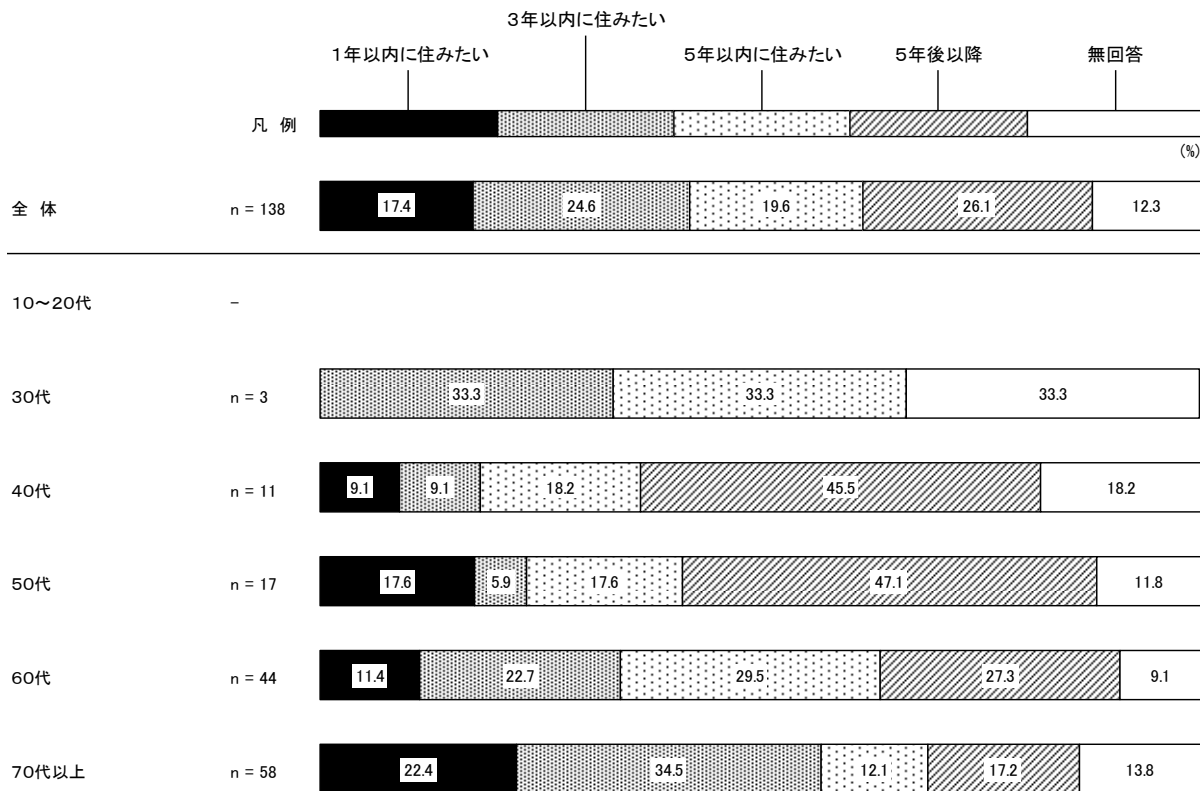
<図表3-4-2 南相馬市での今後の定住先（年齢別）>



3-4-3 南相馬市への帰還時期

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 18 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。（〇は1つ）

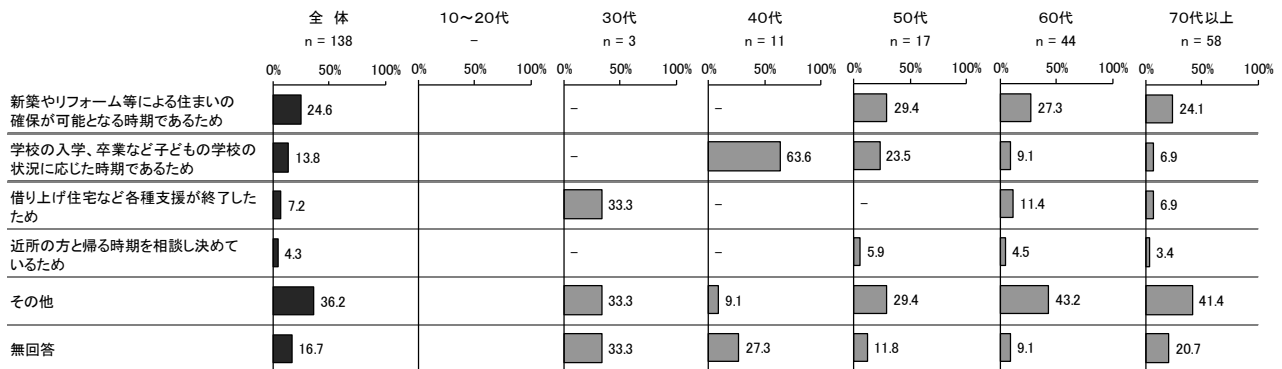
<図表3-4-3 南相馬市への帰還時期（年齢別）>



3-4-4 南相馬市への帰還時期の理由

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 19 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。（〇はいくつでも）

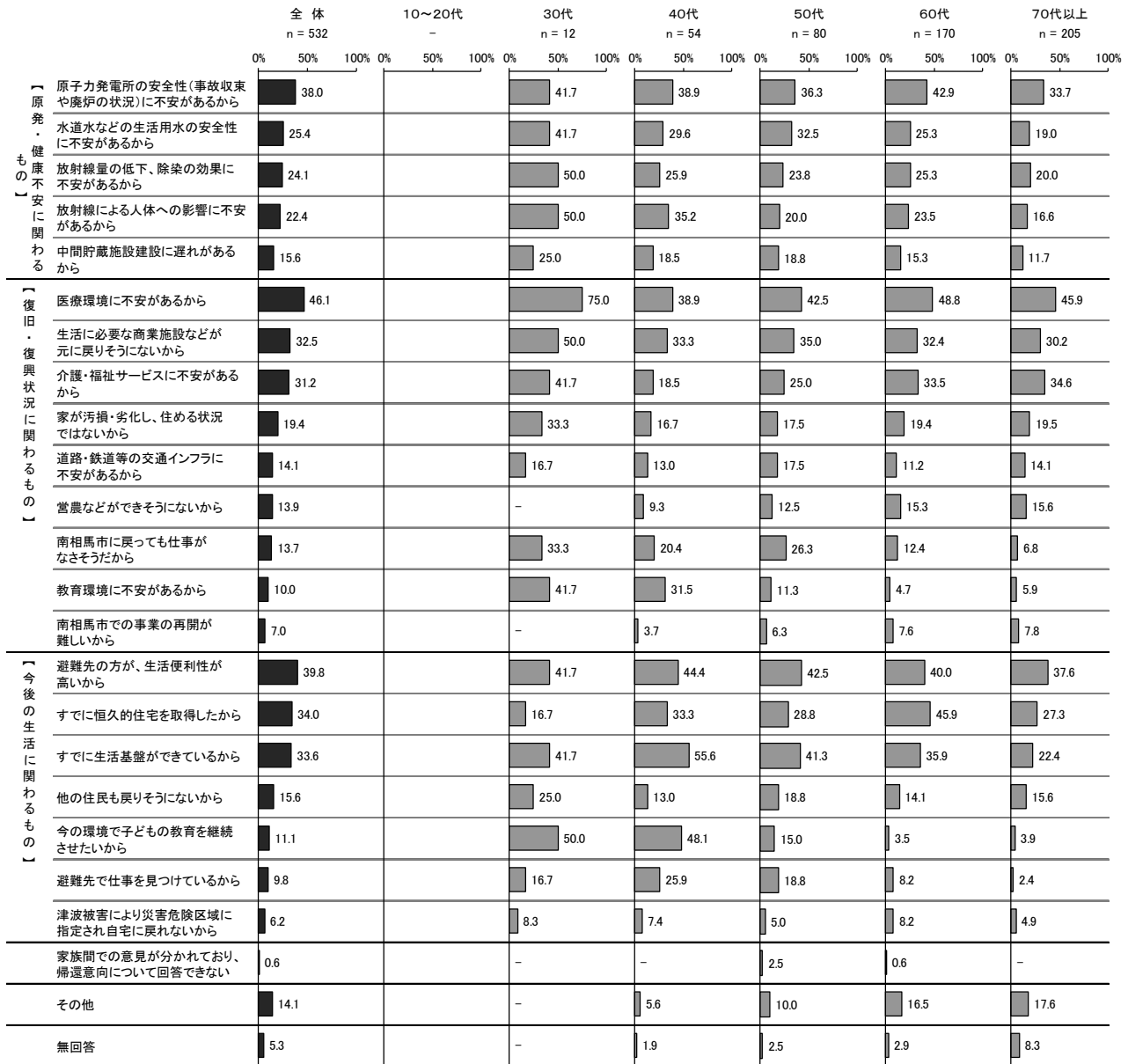
<図表3-4-4 南相馬市への帰還時期の理由（年齢別）>



3-4-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問 20 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。
 (〇はいくつでも)

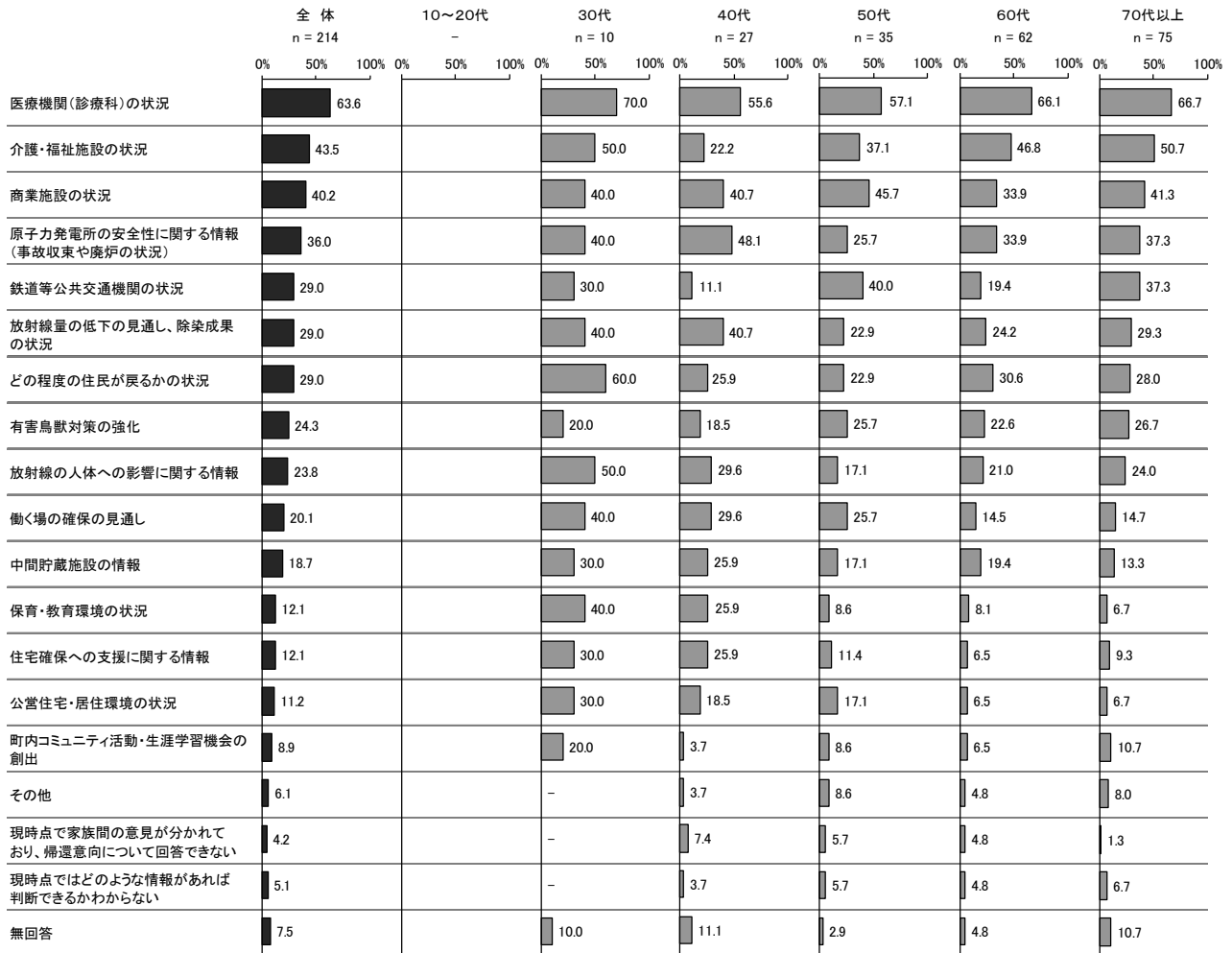
<図表3-4-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由(年齢別)>



3-4-6 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】
 問 21 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-6 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと(年齢別)>

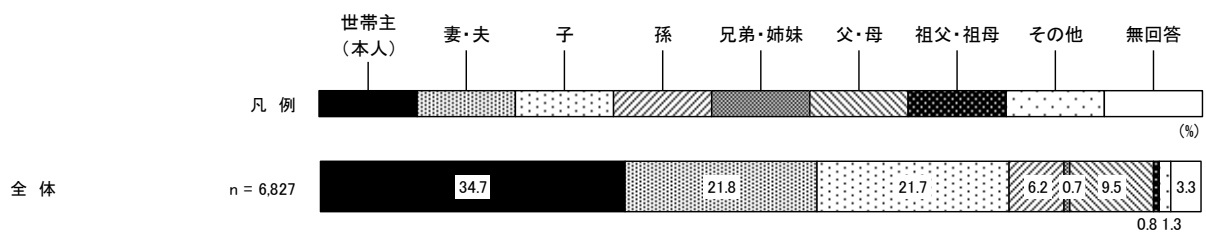


3-5 全世帯員の意向

3-5-1 続柄

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。(続柄)

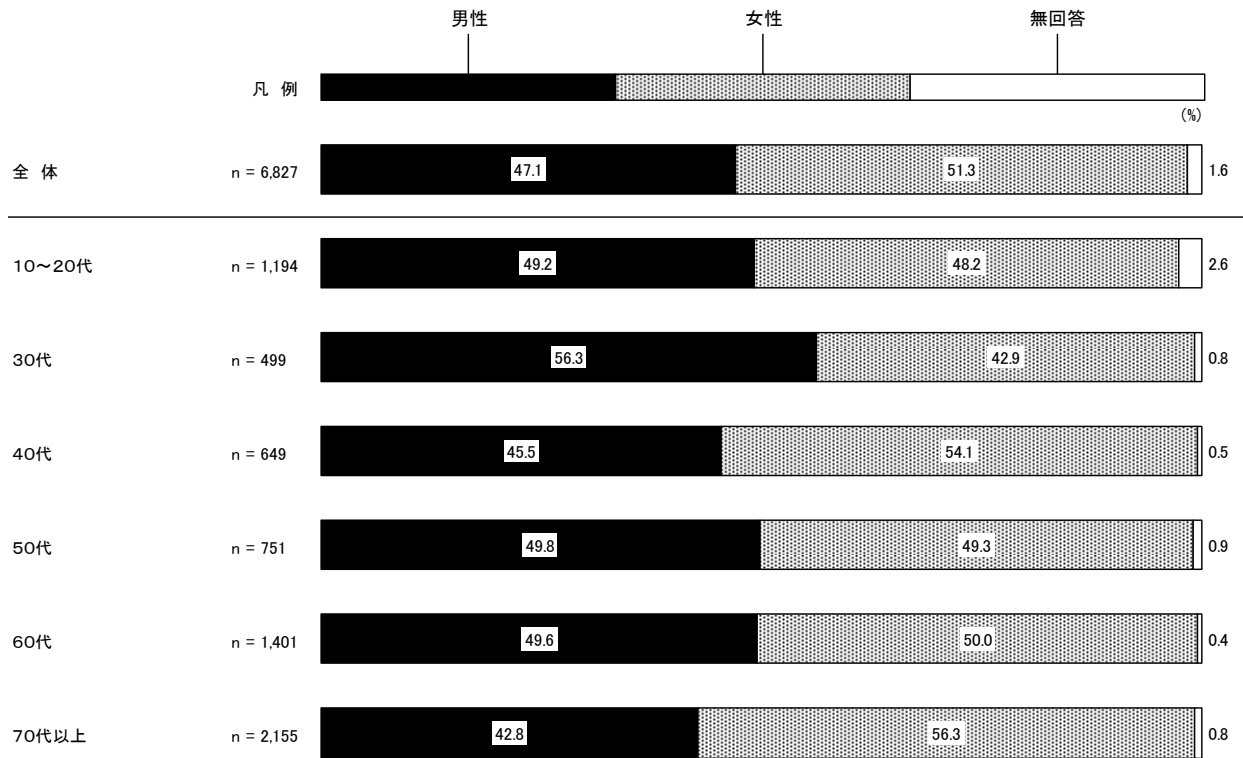
<図表3-5-1 続柄>



3-5-2 性別

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（性別）

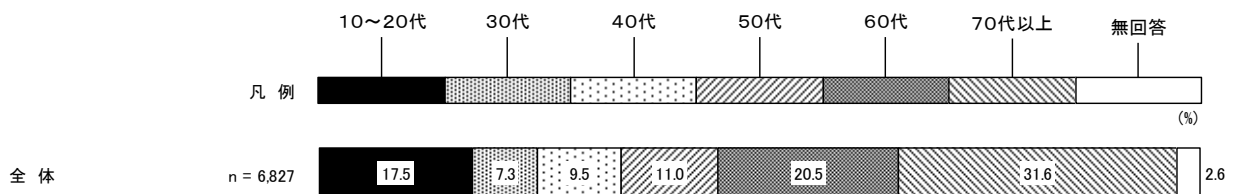
<図表3-5-2 世帯全員の性別（世帯全員の年齢別）>



3-5-3 年齢

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（年齢）

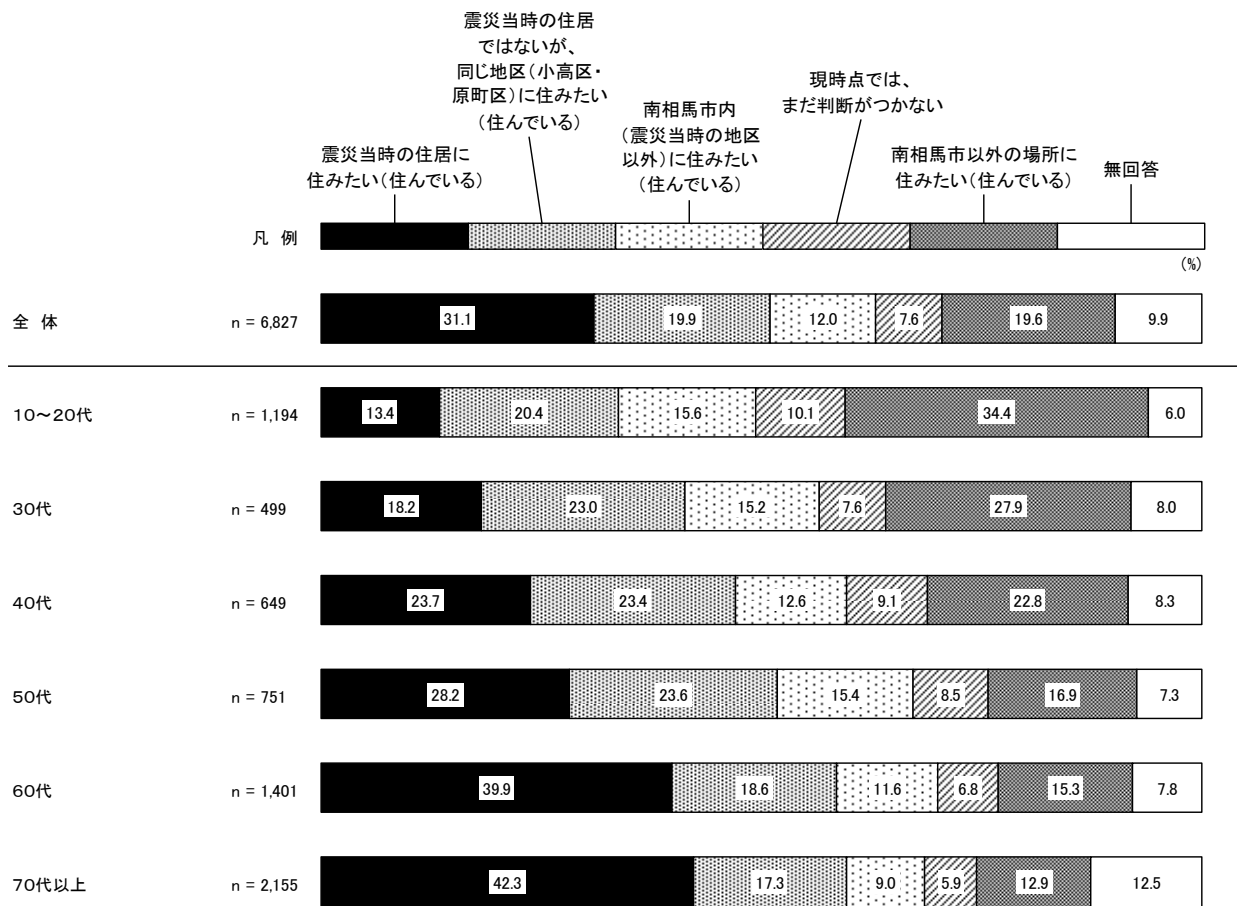
<図表3-5-3 世帯全員の年齢>



3-5-4 今後の住まいの意向

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族一人ごとにご記入ください。（表2 今後の住まいの意向）

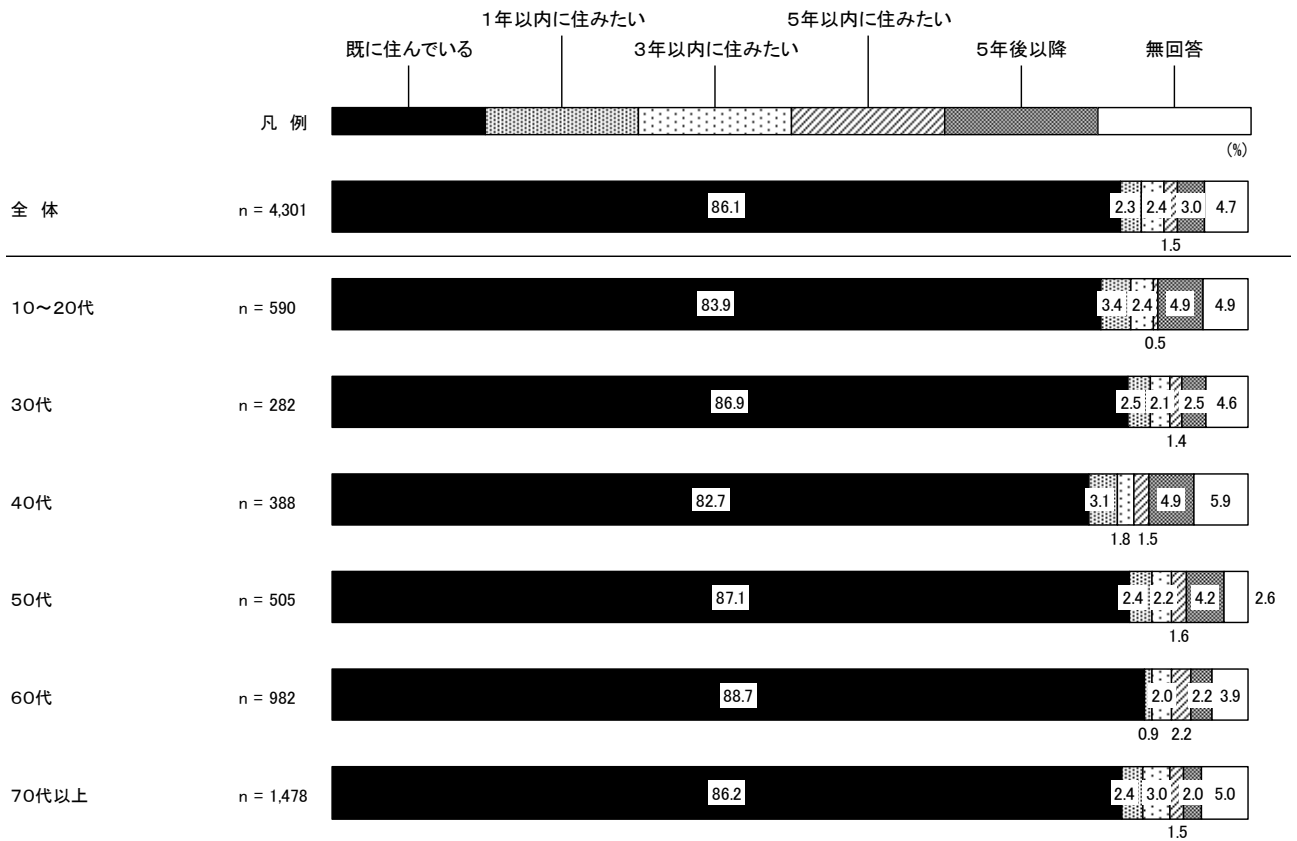
<図表3-5-4 今後の住まいの意向（世帯全員の年齢別）>



3-5-5 南相馬市への帰還時期

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（表3 住みたい時期 表2で1～3を選んだ方のみ回答）

<図表3-5-5 南相馬市への帰還時期（世帯全員の年齢別）>



3-6 意見・要望

問 22 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、1,224 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

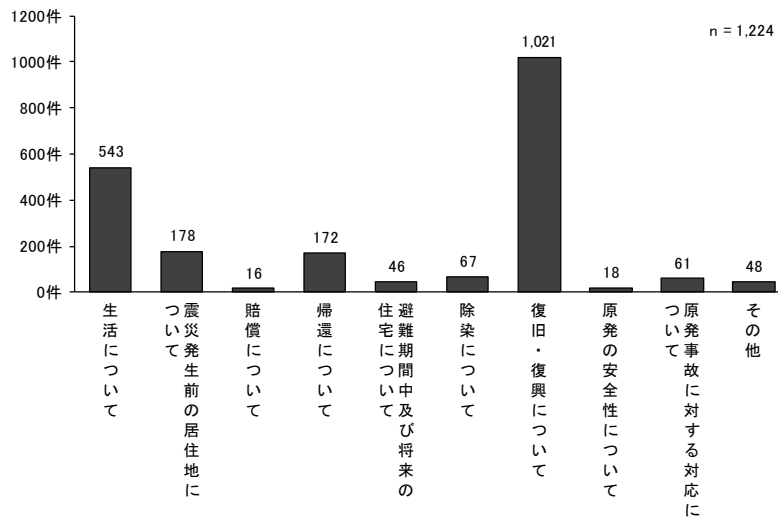
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の効果等について ・除染作業の実施箇所等について ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染産廃物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

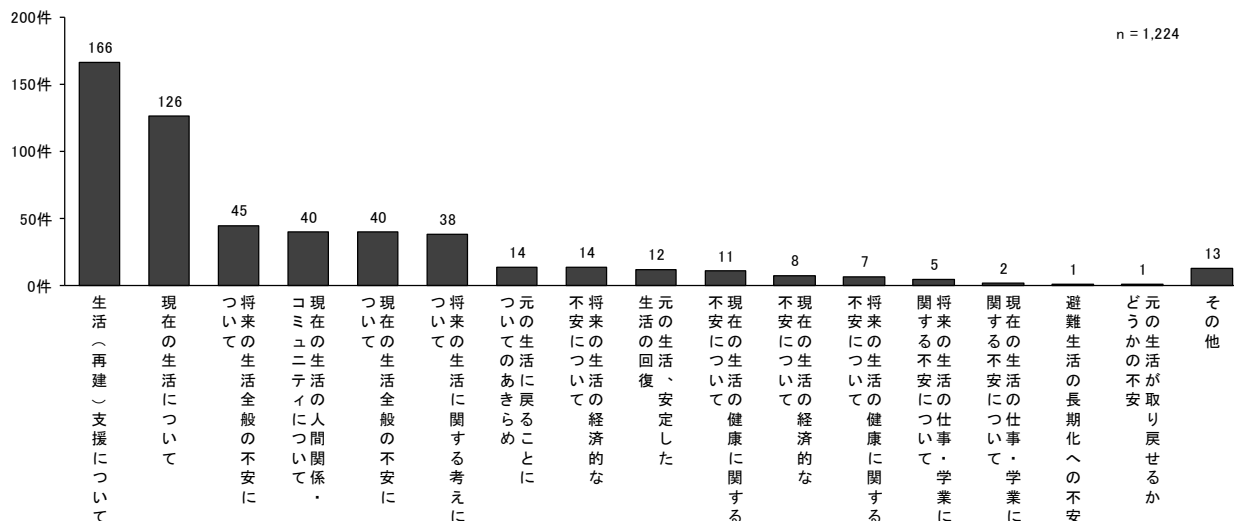
3-6-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-6-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-6-2 生活について

<図表3-6-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[生活（再建）支援について]

- 高速道路の無料化を延長して欲しい。家族ばらばらの為…有料になるとますます、家族間が離れるようで。（30代）
- 震災後10年で国からの支援が終わる気がする。要望はしてほしい。自立しなければならぬのは分かっているが原発事故避難や復旧復興に携わってきた心労が今になって出てきた。先が見えない。（50代）
- 個人的要望ですみませんが、高齢による免許証の返納者に証明書のようなものが頂けて、それによって、南相馬市内だけでも、バスや電車で無料で乗れる様になったら大変有難いのです。（70代以上）

[現在の生活について]

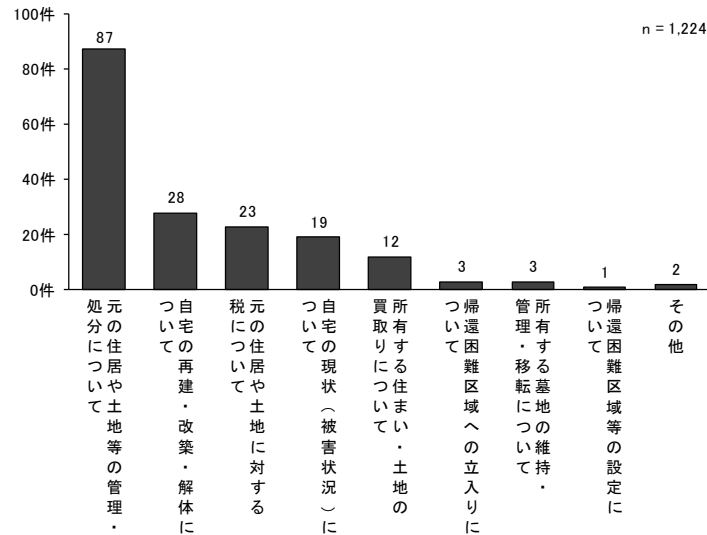
- お店や病院などが充実していた場所への避難が長かったので南相馬市へ戻ってからの生活が不便に感じる。（40代）
- 4ヶ月前に小高区に引っ越してきました。日々の生活はとても不便です。病院や買い物は小高区外に行っています。日曜日休みの店（スーパーやガソリンスタンド）がある為です。震災前に建てられたアパートに住んでいますが、水道水がおいしくない。（50代）
- 親類も皆バラバラで会う事もままならず、震災前のように隣組等の知り合いもおらず、ただ家の中にいる状態です。さびしい気持ちでいっぱいです。（70代以上）

[将来の生活全般の不安について]

- 2025年問題がすでに起きている南相馬市。対策がきちんとされていないため、今後ここに住んで良いか不安です。医療もきちんと充実されておらず老後が不安。（40代）
- 老人の町になる…いま残っている若い人たちに大きな負担となる。このような現象は、くい止められないと思っています。介護施設の不足…。どこの地域でも、近い将来起こりうる現象と思われるが急速すぎる…避難してしまった人たちはいい。残された若い人たち、まだ現役世代の人たちの負担がづらい。（50代）
- 復興に関して行政機関は努力していると思うが人が戻って来ない現実を見ると将来人が居なくなる時が来ると感じる。自身の老後が不安です。（60代）

3-6-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-6-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- ・戻って来て一番感じる空き家、空き地の管理。市が中心となって所有者への管理の徹底をお願いしたいです。少しオーバーに表現すればジャングルの中に住んでいる様な放置された気分になります。定期的に管理する様、指導して頂きたいです。（40代）
- ・親が亡くなれば住居・土地を処分し、他所へ拠点を移すことも考えざるを得ない。（50代）
- ・現在小高区に田、畑、宅地があり、処分したいが良い方法が見つからない。出来れば処分したい。（70代以上）

【自宅の再建・改築・解体について】

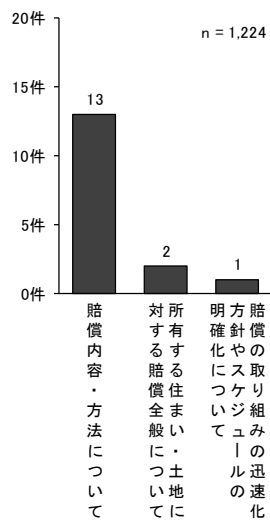
- ・一部損壊で母屋をネズミの巣など雨漏りで管理出来ないで苦渋の選択で壊したが、原発事故が無ければ壊さなかったと思う。国や市、県でも一部損壊で壊した人に対する支援もない。（40代）
- ・解除になったら戻るなどと思っておりましたが、だんだん時が過ぎてゆき、家の方もリフォームも無理かなと思うようになってきました。小高が好きな子供達のため壊さなかったのが悔やまれます。（60代）
- ・自宅の片付けや、解体、その後の土地利用（太陽光発電会社等の紹介等）を考えてほしいです。（70代以上）

【元の住居や土地に対する税について】

- ・震災後、沢山の方々が避難して、事情があり違う場所へ住んでいると思われませんが、新旧の住まいの税金を納めていかなければならない事に不安があります。（50代）
- ・南相馬市にある家の将来の固定資産税の負担が気がかりです。今の住まいと南相馬市の家と2軒を維持していくのはなかなか大変です。（60代）
- ・小高区に宅地が残っている。この先税金のことなどが心配です。（70代以上）

3-6-4 賠償について

<図表3-6-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[賠償内容・方法について]

- 小高区は原発事故後、人口減少、商店減少、医療機関減少など街が崩壊してしまった。原因をつくった東電には街が原状回復（原発事故前）するまで精神的損害賠償を継続するべきだと思う。そして個別の被害、例えば野生動物が大量発生した為に生じた損害の賠償に東電は応じるべきだと思う。これらのことを重く受け止め、市は東電に賠償を強く要求することを要望したい。（50代）
- 今回の原発事故で老後、将来へ備えていた少ない蓄えを使わざるを得ない状況で、それに対しての何らかの補償はどうしてくれるのだろうか。国策で進めてきた原発事故により、やむを得ず「ふるさと」を離れ、生活をしていかなければならなくなった。国はそれに対して何の補償もしてくれないのだろうか。（60代）
- 小高区へ戻って再開したがほとんどの客がいない。東電は、補償を続けるべきだ。（70代以上）

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

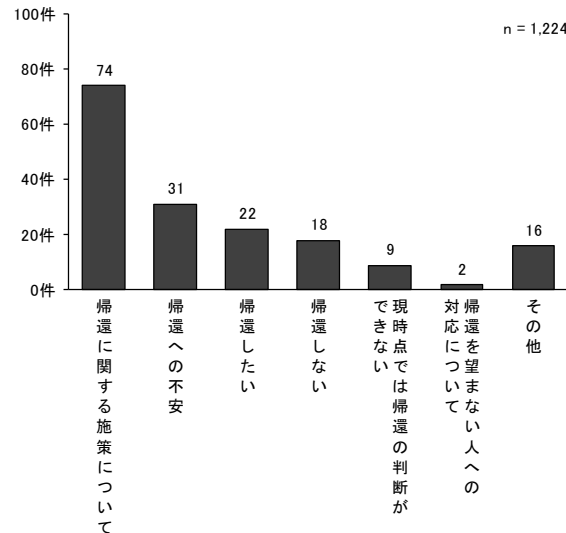
- 小高区の土地建物の東電賠償は、5年3カ月分しかもらえていない。6年分との差（残り9ヶ月）を完全に賠償すべき。（40代）
- 家がリフォーム時期になり、どうしようか考えている（補償問題が判らない）。（50代）

[賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

- 原発に関わる裁判が、約30団体。争っているがそもそも国の損害賠償基準が低かったため。指針の見直しを求めているほしい。（70代以上）

3-6-5 帰還について

＜図表3-6-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- 避難者の帰還がこれ以上進むのは難しいと思う。外部から人を呼び込む取り組みに力を入れて欲しい。（30代）
- 小高に帰ったら、家の入り口の道路を直してくれるとか、カメラをつけてくれるとか、電灯をつけてくれるとか、いろいろメリットの話があり、決めたのです。しかし、入り口の道路は砂利を敷く程度だし、カメラはつかないし、電灯は変な所につけるし、がっかりです。（40代）
- 若い人が戻りやすい環境、仕事場を提供したり、子育てをしっかりとできる環境作り、将来につながる「環境作り」が大事です、これから何年かかるかわからないが、とにかく100年のまちづくり、この夢をあきらめず、少しずつ前へ進めることが大事です。（60代）

【帰還への不安】

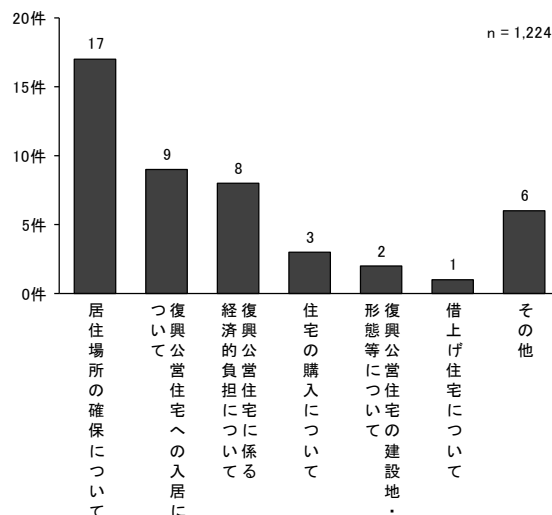
- 小児科など医療がきちんとしてない所に帰るのは、不安しかない。子供の姿が無い、人が歩いていない町に帰って良いのでしょうか？（40代）
- ライフラインの問題や家族間の問題があり、難しい。帰ったとしても、コミュニティもできるかわからない所に帰れない。（50代）
- 自宅に戻ってもひとり暮らしなのですべてにおいて不安。ひとりで買物や病院に行くのが困る。（70代以上）

【帰還したい】

- 個人としては戻りたいが、子供たちが新しい友達ができ子供優先で生活しているので、今すぐ戻るとかの判断はなかなかできないです。（50代）
- 震災後8年半過ぎていますので、自宅に戻りたいと考えてはいますが生活排水の件が心配で、家を新築したくてもできません。（60代）
- 今の生活に満足はしているもののやっぱり元の場所で生活したい気持ちは消えません。（70代以上）

3-6-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-6-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【居住場所の確保について】

- 今年に入り県外から小高に単身で移住してきました。小高は住宅事情が厳しいという印象です。賃貸物件の少なさ、賃料の高さがネックになります。(40代)
- 応急仮設の延長の希望。(50代)
- 未だ震災前の人口の3分の1にも満たない。若い人は帰ってきたい人はいても手頃な住宅やアパートがないと言っている。交流センターなどできてもホントに若い人が住めるような住宅がほしい。(70代以上)

【復興公営住宅への入居について】

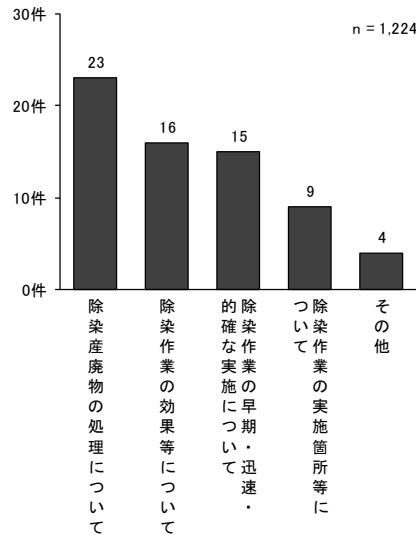
- 復興団地に空家が多く見られる。空家が多いと住んでいても不安がある。ある程度条件はあっても住人を増やしてほしい。(50代)
- 郡山の災害復興住宅に南相馬市の居住者は、入居できなかったことから、住居を確保せざるを得なかった(最近は募集しているようだ?)。(60代)
- 災害復興住宅を建設する時に入居を申込みした所、断られました。今になって、空きがあり再募集の様ですけど遅いです。あの時点で、もっと困っている、家があっても入れない避難者を考えて頂きたかったです。(70代以上)

【復興公営住宅に係る経済的負担について】

- 復興住宅の家賃の軽減。(40代)
- 復興公営住宅に住んでいるが、家賃が高い。10年後を考えると心配で、このまま住んで良いものか?健康で70才まで働けるか。税金も納めていけるか。マイナス面ばかり、考える。国もお金の使い方を考えてほしい。(50代)
- 災害住宅に空き家が多く、共益費が段々上がっていきます。来年から家賃が上がり、一人年金暮らし大変です。(70代以上)

3-6-7 除染について

＜図表3-6-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染産廃物の処理について】

- 環境大臣は最終処分場を速やかに決め、発表できるようにすれば福島県との約束を果たすことになる。それができないのなら無用の発言は止めて欲しい。(50代)
- 一日でも早く除染廃棄物（フレコンバッグ）を撤去して美しい風景を取り戻して欲しい。(60代)
- 除染廃棄物は早く撤去し稲作りが出来る様にして貰いたい。(70代以上)

【除染作業の効果等について】

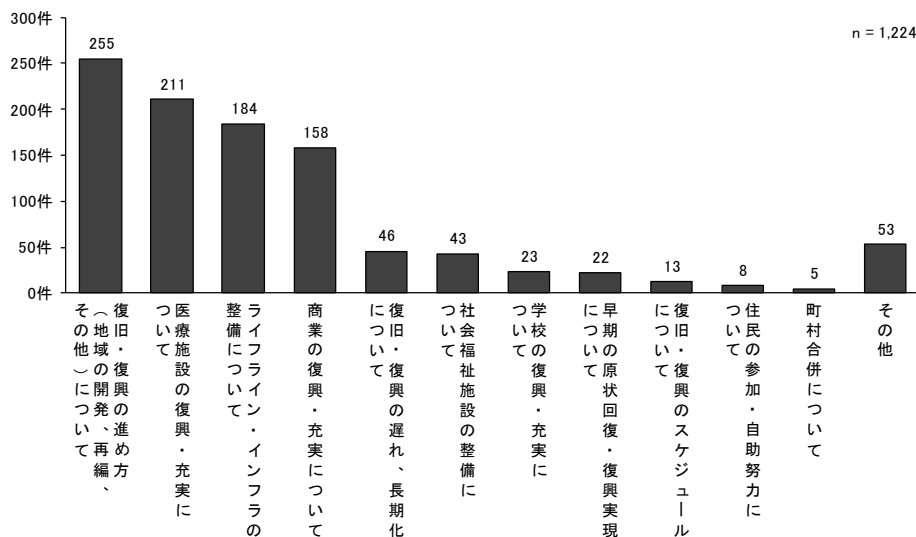
- 除染をなぜ地表から1mの高さで測定したのか意味がわからない。0mで測定しなければベータ線やアルファ線の数値がわからないのではないのかなあとと思っています。ガンマ線だけしか測定出来ないのではと思っていました。(40代)
- 放射線量の計測はもう終わりですか。時々は測ってほしいです。(60代)
- 近隣で、3回位除染していただいた家があるとの事で、自分の家は1回で終わっているのが心配です。(70代以上)

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 小さい子供がいる為やはり放射線への不安がある。定期的に自宅や庭の除染をしてほしい。(40代)
- 今後も線量を下げる、そして正しい開示、安全さをアピールしてもらいたいです。(60代)
- 小高川（前川）の河川の除染が未だに行われておりません。早く除染をして下さい。安心して農業の再開が出来ません。(70代以上)

3-6-8 復旧・復興について

＜図表3-6-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- ・現在小高区に住んでいる身からすると、地域プレイヤーがそれぞれ頑張っていて、まちにも活気があるように見えます。国や県、市の行政の方々に望むことは、例えば規制緩和などで、そういった地域プレイヤーの活動を後押ししていただくことです。助成金も大変重要な後押しではありますが、事業の報告が伴う以上、足かせとなってしまいう場合も少なくありません。地域プレイヤーがそれぞれ勝手に動いて、行政がそれを制度面でバックアップできれば、より地域が持続的になっていくのではないかと思います。（10～20代）
- ・若者や子供が住みたいと思える場所になることを希望します。他の地域と同じぐらいの事をやっけては、いろんな意味で負けてしまい、新たに住んでみようと思う人は少ないと思います。他ではできないような魅力ある政策を期待します。（40代）
- ・テーブル上の復興ではなく、地域の現場にどんどん足をふみ入れて自分達の目で確かめて復興に取り組んでいただきたい。（70代以上）

【医療施設の復興・充実について】

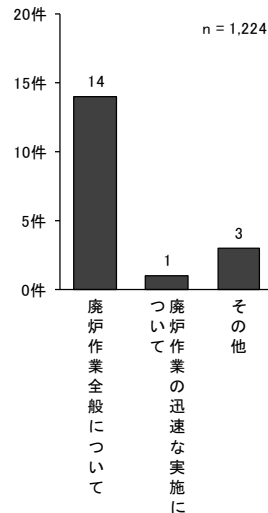
- ・小高区をもう少し重要視してほしい。買い物、医療等、もう少し力を入れてほしい。（10～20代）
- ・病院が予約を取らないと診察してくれないのが困る（市立病院）。南相馬市で一番大きな病院なので、いつでも予約なしで受診できる環境にしてほしい。また、皮膚科、耳鼻科が少なすぎる。（30代）
- ・高齢者が多いので医療施設（入院等）の完備をして頂きたい。医療費の減額を希望します。（70代以上）

【ライフライン・インフラの整備について】

- ・道路の整備。主要な道路のでこぼかがひどい。工事後の箇所とか。（30代）
- ・小高区の工事関係の人や車両が迷惑です（マナーや車の騒音）。（50代）
- ・交通の便＝買い物、医者、その他サロンなど、定時刻にバス利用出来たら良好だと思う。（70代以上）

3-6-9 原発の安全性について

<図表3-6-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[廃炉作業全般について]

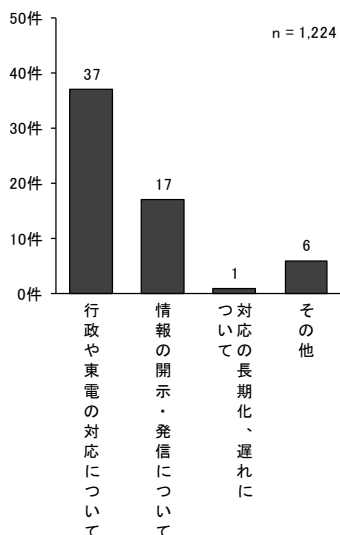
- 原発を安全な形で廃炉を進めていって欲しい。(60代)
- 原発の廃炉に伴う放射線の飛散の心配。(70代以上)
- 廃炉については、放射線等の不安がないよう安全対策の徹底を願う。(70代以上)

[廃炉作業の迅速な実施について]

- 一日でも早い廃炉作業の確実な終了・原発再稼働反対。大きな表現になるが原発の存在は宇宙を地球を破壊する。デブリの管理処分方法が決まっていない30年~40年続くとされる廃炉作業、目の届く作業にも限界がある。使用済み核燃料の貯蔵の出来ない原発・災害・テロ等皆無ではない。ふる里に核燃料のある限り不安は消えない。(70代以上)

3-6-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-6-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- ・震災から時間が経ち、放射線の問題についても少しずつ忘れかけており、薄れてきていると感じます。これまで、経験がない事故だからこそ、安全になってきているからと調査などをやめてしまわず、安全であることを証明し続けていくことが、他の原子力発電所を稼働していくならば、必要なことではないでしょうか。それが、国としての責任ではないでしょうか。忘れないでください。（40代）
- ・県や国は、放射線のリスクについて不誠実だ。風評被害という言葉が先行しているが、少なくとも土壌その他の汚染被害は実害となっている。それに対する防護措置や教育指導が、全くなされていない。これほど、不誠実なことはない。（60代）
- ・原発災害を8年とか10年とかで終了させようとしている、市、県、国の考えは許せない。我々は地域を追われ、慣れ住んだ所を捨てて来ていることをよく考えてもらいたい。避難者でなければわからないのだろうか！（70代以上）

【情報の開示・発信について】

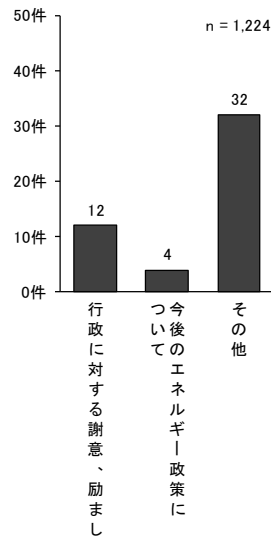
- ・1F内にはまだまだ人が立入れない高線量の場所が多く有ります。その事を発表し一生償っていく義務が有る。（40代）
- ・放射線量の調査等の発表は東電まかせでなく政府が責任を持って独自に調査・発表をして頂きたい。（60代）
- ・放射線への不安感に対して、科学的に正しい知識の啓蒙（折に触れ積極的に）。（70代以上）

【対応の長期化、遅れについて】

- ・対応が少し遅い気がします。（60代）

3-6-11 その他

＜図表3-6-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 広報誌で南相馬市や小高の色々をわかり、なつかしくありがとうございます。(60代)
- この8年間復興に力を入れていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。現在は震災前同様に暮らしていることが精神的にも体力的にも少しずつ表われております。それも、これも市・県・国の方々が復興を計画的に進めて頂いたお陰と感謝しております。(60代)
- 区役所の方々…ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。(70代以上)

【今後のエネルギー政策について】

- 原発に頼らないエネルギー資源を利用した生活ができることを願います。(70代以上)
- 原子力の事故等二度とない様にしてもらいたい。(70代以上)
- ソーラーが住宅の近くまで建っていますが、家の近くはつくらない様にしてほしい。(70代以上)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

4-1-1 初回調査

南相馬市 住民意向調査

● 調査をお願いする方

- ・ 震災発生時、南相馬市の避難指示区域内に住民登録していた世帯の代表者の方(避難後に転出された方は除く)、または令和元年8月31日時点で南相馬市の避難指示区域内に住民登録のある世帯の代表者の方をお願いいたします。

● 回答方法

- ・ ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・ ○をつけた回答の後ろに()がある場合、()内に具体的な内容もご記入ください。
- ・ ご回答は、記入する日時点の状況について、お答えください。

● 個人情報の取り扱いについて

- ・ 調査票に記載いただいた個人情報は、南相馬市、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・ また、回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● 提出方法

- ・ 回答済みの調査票は、10月14日(月)までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-249

[設置期間：10月1日(火)～10月14日(月)]

平日 10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

Tel 024-521-8617

南相馬市

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

南相馬市役所 被災者支援課

Tel 0244-24-5223

はじめに、回答いただくあなたご自身の現在の状況についてお伺いします。

【すべての方に伺います。】

問 1 あなたの性別、年齢について教えてください。

性別	1. 男	2. 女
年齢(ご記入ください)	才	

【すべての方に伺います。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者 (継続中もしくは再開済)	6. パート・アルバイト
2. 自営業・会社経営者(休業中)	7. 無職(職を探していない)
3. 会社員	8. 無職(職を探している)
4. 団体職員	9. その他(具体的に
5. 公務員)

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった居住地を教えてください。(○は1つ)

南相馬市内の避難指示区域				その他
小高区			原町区	
中部	西部	東部		
1. 一区	13. 飯崎	25. 女場	40. 雫	54. 原町区
2. 二区	14. 角間沢	26. 角部内	41. 小浜	55. 鹿島区
3. 三区	15. 小谷	27. 上蛭沢	42. 下江井	56. 市外
4. 四区	16. 摩辰	28. 下蛭沢	43. 小沢	
5. 五区	17. 南鳩原	29. 浦尻	44. 堤谷	
6. 小高	18. 北鳩原	30. 下浦	45. 江井	
7. 片草	19. 羽倉	31. 行津	46. 米々沢	
8. 吉名	20. 大富	32. 上浦	47. 大甕下	
9. 岡田	21. 金谷	33. 神山	48. 高一	
10. 川原田	22. 川房	34. 上耳谷	49. 高二	
11. 大井	23. 大田和	35. 下耳谷	50. 小木迫	
12. 塚原	24. 小屋木	36. 泉沢	51. 鶴谷	
		37. 福岡	52. 馬場	
		38. 村上	53. 高倉	
		39. 井田川		

【問3で「54」～「56」以外を回答した方に伺います。】

問 4 震災発生当時のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。(別途同封しております、「南相馬市地図」をご参考ください。)(○は1つ)

1. 帰還困難区域
2. 居住制限区域
3. 避難指示解除準備区域
4. その他区域
5. わからない

【すべての方に伺います。】

問 5 震災発生当時にお住まいだった住宅形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他(具体的に |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) |) |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 6 現在、あなたはどちらにお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. 震災発生当時の住居 | ⇒ <u>問 8 へ</u> |
| 2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)の住居 | ⇒ <u>問 8 へ</u> |
| 3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居 | ⇒ <u>問 7 へ</u> |
| 4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している | ⇒ <u>問 7 へ</u> |
| 5. 南相馬市以外 | ⇒ <u>問 7 へ</u> |

【問 6 で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】

問 7 現在、あなたがお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

※「4.震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

1. 小高区
 2. 原町区
 3. 鹿島区
 4. 南相馬市以外
→具体的にご記入ください
- (都・道・府・県)
 (市・区・町・村)

【すべての方に伺います。】

問 8 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償) | 6. 民間賃貸住宅(有償) |
| 2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償) | 7. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |
| 3. 南相馬市営の災害公営住宅(有償) | 8. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 4. 福島県営・南相馬市営の復興公営住宅(有償) | 9. 親戚・知人宅 |
| 5. その他の公営住宅(「3」と「4」は除く。有償) | 10. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| | 11. その他(具体的に) |



現在、南相馬市にお住まいの方は問 9(4 ページ)へ
それ以外の方は問 16(6 ページ)へ

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 9 **現在の場所**にお住まいの理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 住み慣れているから | 10. 気候が温暖だから |
| 2. 家(自宅)があるから | 11. 交通が便利だから |
| 3. 家族や親せき、友人などがいるから | 12. 買い物が便利だから |
| 4. 妊娠・出産の支援が充実しているから | 13. 娯楽施設があるから |
| 5. 子育てがしやすいから | 14. 文化施設が整っているから |
| 6. 教育環境が整っているから | 15. スポーツ施設が整っているから |
| 7. 医療が充実しているから | 16. 復興に貢献したいから |
| 8. 仕事があるから | 17. 特に無い |
| 9. 自然環境に恵まれているから | 18. その他(具体的に |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 10 **現在の主な日用品(食料品・生活用品)の買い物先**を教えてください。

(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1. 小高区 | 4. 浪江町 |
| 2. 原町区 | 5. 相馬市 |
| 3. 鹿島区 | 6. その他(具体的に |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 11 **現在の主な通院先**を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1. 小高区 | 4. 浪江町 |
| 2. 原町区 | 5. 相馬市 |
| 3. 鹿島区 | 6. その他(具体的に |
| | 7. 通院していない |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 12 **現在の買い物や通院のための主な交通手段**を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 自家用車(自己運転) | 6. 知人・友人の自家用車 |
| 2. ジャンボタクシー(予約制乗合) | 7. 鉄道 |
| 3. 定額タクシー(みなタク) | 8. 徒歩 |
| 4. タクシー(「2」と「3」以外) | 9. その他(具体的に |
| 5. 家族の自家用車 | |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 13 **現在**お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。(○は1つ)

1. 加入している)
2. 加入していない(理由	

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 14 **現在**、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。

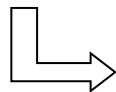
(○はいくつでも)

1. 行政区の活動	5. 道路愛護会)
2. 老人会	6. その他	
3. サロン活動	(具体的に)
4. 市民活動団体事業	7. 参加していない	
	(理由)

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 15 **現在の**ボランティア活動への参加の意向を教えてください。(○は1つ)

1. 参加したい)
2. 参加したくない	
3. 参加できない(理由	



震災当時、南相馬市内にお住まいだった方は問 16(6 ページ)へ
それ以外の方は問 22(9 ページ)へ

将来に関するご意向についてお聞かせください。

問 16～問 21 (6～8 ページ) は、震災当時、南相馬市内にお住まいだった方がお答えください。
※それ以外の方は、問 22 (9 ページ) へお進みください。

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】

問 16 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 既に南相馬市に戻っている | ⇒ <u>問 22 へ</u> |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ <u>問 17 へ</u> |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒ <u>問 20 へ</u> |
| 4. 戻らないと決めている | ⇒ <u>問 20 へ</u> |

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 17 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。

(○は1つ)

1. 震災発生当時の住居に住みたい
2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい
3. 南相馬市内(震災発生当時の地区以外)に住みたい

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 18 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。(○は1つ)

1. 1年以内に住みたい
2. 3年以内に住みたい
3. 5年以内に住みたい
4. 5年後以降

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 19 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため
2. 学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため
3. 近所の方と帰る時期を相談し決めているため
4. 借り上げ住宅など各種支援が終了したため
5. その他(具体的に

→ 問 22(9 ページ)へ

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

問 20 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【原発・健康不安に関わるもの】

1. 放射線量の低下、除染の効果に不安があるから
2. 放射線による人体への影響に不安があるから
3. 原子力発電所の安全性(事故収束や廃炉の状況)に不安があるから
4. 中間貯蔵施設建設に遅れがあるから
5. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

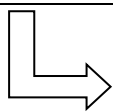
【復旧・復興状況に関わるもの】

6. 南相馬市に戻っても仕事がなさそうだから
7. 南相馬市での事業の再開が難しいから
8. 営農などができそうにないから
9. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
10. 道路・鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. すでに恒久的住宅を取得したから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 津波被害により災害危険区域に指定され自宅に戻れないから
18. 避難先で仕事を見つけているから
19. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
20. 避難先の方が、生活便利が高いから
21. すでに生活基盤ができているから
22. 家族間での意見が分かれており、帰還意向について回答できない
23. その他

具体的に



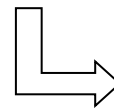
問 16 で「3.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 21(8 ページ)へ
問 16 で「4.戻らないと決めている」を選んだ方は問 22(9 ページ)へ

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 21 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。

(〇はいくつでも)

1. 鉄道等公共交通機関の状況
2. 医療機関(診療科)の状況
3. 介護・福祉施設の状況
4. 保育・教育環境の状況
5. 商業施設の状況
6. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
7. どの程度の住民が戻るかの状況
8. 中間貯蔵施設の情報
9. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
10. 放射線の人体への影響に関する情報
11. 働く場の確保の見通し
12. 公営住宅・居住環境の状況
13. 住宅確保への支援に関する情報
14. 有害鳥獣対策の強化
15. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出
16. その他(具体的に)
17. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
18. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない



問 22(9 ページ)へ

国や福島県、南相馬市へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

問 22 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

震災発生当時、南相馬市にお住まいでなかった方は、以上で本調査は終了となります。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

震災発生当時、南相馬市にお住まいだった方は、次ページの「ご家族の現在の状況について」にご回答いただき、本調査は終了となります。

震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。

ご家族の現在の状況について

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。

※世帯の代表者のことを記入いただく必要はありません。

	世帯主との続柄	性別	年齢	今後の住まいの意向	住みたい時期
	表1から選んでください(1つ)	番号を○で囲んでください	現在の年齢を記入してください	表2から選んでください(1つ)	表3から選んでください(1つ)
記入例	[1]	1.男 ②.女	[30]	[3]	[1]
1人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
2人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
3人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
4人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
5人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
6人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
7人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]

表1 世帯主との続柄	1. 妻・夫 2. 子 3. 孫 4. 兄弟・姉妹 5. 父・母 6. 祖父・祖母 7. その他
---------------	--

表2 今後の住まいの意向	1. 震災当時の住居に住みたい(住んでいる) 2. 震災当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい(住んでいる) 3. 南相馬市内(震災当時の地区以外)に住みたい(住んでいる) 4. 現時点では、まだ判断がつかない 5. 南相馬市以外の場所に住みたい(住んでいる)
-----------------	--

表3 住みたい時期 (表2で1～3を選んだ方のみ回答)	1. 既に住んでいる 2. 1年以内に住みたい 3. 3年以内に住みたい 4. 5年以内に住みたい 5. 5年後以降
-----------------------------------	--

以上でご回答いただく内容は終わりです。

ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済みの調査票を入れて、

10月14日(月)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

4-1-2 追加調査

南相馬市 住民意向調査

● 調査をお願いする方

- ・ 震災発生時、南相馬市の避難指示区域内に住民登録していた世帯の代表者の方(避難後に転出された方を含む)、または令和元年8月31日時点で南相馬市の避難指示区域内に住民登録のある世帯の代表者の方にお願いいたします。

● 回答方法

- ・ ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・ ○をつけた回答の後ろに()がある場合、()内に具体的な内容もご記入ください。
- ・ ご回答は、記入する日時点の状況について、お答えください。

● 個人情報の取り扱いについて

- ・ 調査票に記載いただいた個人情報は、南相馬市、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・ また、回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● 提出方法

- ・ 回答済みの調査票は、12月16日(月)までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-249

[設置期間：12月3日(火)～12月16日(月)]

平日 10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

Tel 024-521-8617

南相馬市

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

南相馬市役所 被災者支援課

Tel 0244-24-5223

はじめに、回答いただくあなたご自身の現在の状況についてお伺いします。

【すべての方に伺います。】

問 1 あなたの性別、年齢について教えてください。

性別	1. 男	2. 女
年齢(ご記入ください)	才	

【すべての方に伺います。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者 (継続中もしくは再開済)	6. パート・アルバイト
2. 自営業・会社経営者(休業中)	7. 無職(職を探していない)
3. 会社員	8. 無職(職を探している)
4. 団体職員	9. その他(具体的に
5. 公務員)

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった居住地を教えてください。(○は1つ)

南相馬市内の避難指示区域				その他
小高区			原町区	
中部	西部	東部		
1. 一区	13. 飯崎	25. 女場	40. 雫	54. 原町区
2. 二区	14. 角間沢	26. 角部内	41. 小浜	55. 鹿島区
3. 三区	15. 小谷	27. 上蛭沢	42. 下江井	56. 市外
4. 四区	16. 摩辰	28. 下蛭沢	43. 小沢	
5. 五区	17. 南鳩原	29. 浦尻	44. 堤谷	
6. 小高	18. 北鳩原	30. 下浦	45. 江井	
7. 片草	19. 羽倉	31. 行津	46. 米々沢	
8. 吉名	20. 大富	32. 上浦	47. 大甕下	
9. 岡田	21. 金谷	33. 神山	48. 高一	
10. 川原田	22. 川房	34. 上耳谷	49. 高二	
11. 大井	23. 大田和	35. 下耳谷	50. 小木迫	
12. 塚原	24. 小屋木	36. 泉沢	51. 鶴谷	
		37. 福岡	52. 馬場	
		38. 村上	53. 高倉	
		39. 井田川		

【問3で「54」～「56」以外を回答した方に伺います。】

問 4 震災発生当時のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。(別途同封しております、「南相馬市地図」をご参考ください。)(○は1つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 帰還困難区域 2. 居住制限区域 3. 避難指示解除準備区域 4. その他区域 5. わからない |
|---|

【すべての方に伺います。】

問 5 震災発生当時にお住まいだった住宅形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 持ち家(一戸建) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 民間賃貸住宅(一戸建) 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) 5. 公営住宅 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | <ol style="list-style-type: none"> 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 8. 親戚・知人宅 9. その他(具体的に) |
|--|---|

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 6 現在、あなたはどちらにお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1. 震災発生当時の住居 | ⇒ 問 8 へ |
| 2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)の住居 | ⇒ 問 8 へ |
| 3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居 | ⇒ 問 7 へ |
| 4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している | ⇒ 問 7 へ |
| 5. 南相馬市以外 | ⇒ 問 7 へ |

【問 6 で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】

問 7 現在、あなたがお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

※「4.震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

1. 小高区
2. 原町区
3. 鹿島区
4. 南相馬市以外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・区・町・村)

【すべての方に伺います。】

問 8 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償) | 6. 民間賃貸住宅(有償) |
| 2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償) | 7. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |
| 3. 南相馬市営の災害公営住宅(有償) | 8. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 4. 福島県営・南相馬市営の復興公営住宅(有償) | 9. 親戚・知人宅 |
| 5. その他の公営住宅(「3」と「4」は除く。有償) | 10. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| | 11. その他(具体的に) |



現在、南相馬市にお住まいの方は問 9(4 ページ)へ
それ以外の方は問 16(6 ページ)へ

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 9 現在の場所にお住まいの理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 住み慣れているから | 10. 気候が温暖だから |
| 2. 家(自宅)があるから | 11. 交通が便利だから |
| 3. 家族や親せき、友人などがいるから | 12. 買い物が便利だから |
| 4. 妊娠・出産の支援が充実しているから | 13. 娯楽施設があるから |
| 5. 子育てがしやすいから | 14. 文化施設が整っているから |
| 6. 教育環境が整っているから | 15. スポーツ施設が整っているから |
| 7. 医療が充実しているから | 16. 復興に貢献したいから |
| 8. 仕事があるから | 17. 特に無い |
| 9. 自然環境に恵まれているから | 18. その他(具体的に |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 10 現在の主な日用品(食料品・生活用品)の買い物先を教えてください。

(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1. 小高区 | 4. 浪江町 |
| 2. 原町区 | 5. 相馬市 |
| 3. 鹿島区 | 6. その他(具体的に |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 11 現在の主な通院先を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1. 小高区 | 4. 浪江町 |
| 2. 原町区 | 5. 相馬市 |
| 3. 鹿島区 | 6. その他(具体的に |
| | 7. 通院していない |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 12 現在の買い物や通院のための主な交通手段を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 自家用車(自己運転) | 6. 知人・友人の自家用車 |
| 2. ジャンボタクシー(予約制乗合) | 7. 鉄道 |
| 3. 定額タクシー(みなタク) | 8. 徒歩 |
| 4. タクシー(「2」と「3」以外) | 9. その他(具体的に |
| 5. 家族の自家用車 | |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 13 **現在**お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。(○は1つ)

1. 加入している	理由)
2. 加入していない		

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 14 **現在**、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。

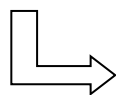
(○はいくつでも)

1. 行政区の活動	5. 道路愛護会)
2. 老人会	6. その他	
3. サロン活動	具体的に)
4. 市民活動団体事業	7. 参加していない	
	理由)

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 15 **現在の**ボランティア活動への参加の意向を教えてください。(○は1つ)

1. 参加したい	理由)
2. 参加したくない		
3. 参加できない		



震災当時、南相馬市内にお住まいだった方は問 16(6 ページ)へ
それ以外の方は問 22(9 ページ)へ

将来に関するご意向についてお聞かせください。

問 16～問 21 (6～8 ページ) は、震災当時、南相馬市内にお住まいだった方が
お答えください。
※それ以外の方は、問 22 (9 ページ) へお進みください。

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】

問 16 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 既に南相馬市に戻っている | ⇒ <u>問 22 へ</u> |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ <u>問 17 へ</u> |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒ <u>問 20 へ</u> |
| 4. 戻らないと決めている | ⇒ <u>問 20 へ</u> |

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 17 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。

(○は1つ)

1. 震災発生当時の住居に住みたい
2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい
3. 南相馬市内(震災発生当時の地区以外)に住みたい

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 18 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。(○は1つ)

1. 1年以内に住みたい
2. 3年以内に住みたい
3. 5年以内に住みたい
4. 5年後以降

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 19 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため
2. 学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため
3. 近所の方と帰る時期を相談し決めているため
4. 借り上げ住宅など各種支援が終了したため
5. その他(具体的に

→ 問 22(9 ページ)へ

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

問 20 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【原発・健康不安に関わるもの】

1. 放射線量の低下、除染の効果に不安があるから
2. 放射線による人体への影響に不安があるから
3. 原子力発電所の安全性(事故収束や廃炉の状況)に不安があるから
4. 中間貯蔵施設建設に遅れがあるから
5. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

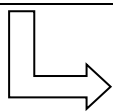
【復旧・復興状況に関わるもの】

6. 南相馬市に戻っても仕事がなさそうだから
7. 南相馬市での事業の再開が難しいから
8. 営農などができそうにないから
9. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
10. 道路・鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. すでに恒久的住宅を取得したから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 津波被害により災害危険区域に指定され自宅に戻れないから
18. 避難先で仕事を見つけているから
19. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
20. 避難先の方が、生活便利が高いから
21. すでに生活基盤ができているから
22. 家族間での意見が分かれており、帰還意向について回答できない
23. その他

具体的に



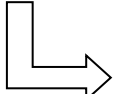
問 16 で「3.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 21(8 ページ)へ
問 16 で「4.戻らないと決めている」を選んだ方は問 22(9 ページ)へ

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 21 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。

(〇はいくつでも)

1. 鉄道等公共交通機関の状況
2. 医療機関(診療科)の状況
3. 介護・福祉施設の状況
4. 保育・教育環境の状況
5. 商業施設の状況
6. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
7. どの程度の住民が戻るかの状況
8. 中間貯蔵施設の情報
9. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
10. 放射線の人体への影響に関する情報
11. 働く場の確保の見通し
12. 公営住宅・居住環境の状況
13. 住宅確保への支援に関する情報
14. 有害鳥獣対策の強化
15. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出
16. その他(具体的に)
17. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
18. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

 問 22(9 ページ)へ

国や福島県、南相馬市へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

問 22 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

震災発生当時、南相馬市にお住まいでなかった方は、以上で本調査は終了となります。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

震災発生当時、南相馬市にお住まいだった方は、次ページの「ご家族の現在の状況について」にご回答いただき、本調査は終了となります。

震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。

ご家族の現在の状況について

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。

※世帯の代表者のことを記入いただく必要はありません。

	世帯主との続柄	性別	年齢	今後の住まいの意向	住みたい時期
	表1から選んでください(1つ)	番号を○で囲んでください	現在の年齢を記入してください	表2から選んでください(1つ)	表3から選んでください(1つ)
記入例	[1]	1.男 ②.女	[30]	[3]	[1]
1人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
2人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
3人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
4人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
5人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
6人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
7人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]

表1 世帯主との続柄	1. 妻・夫 2. 子 3. 孫 4. 兄弟・姉妹 5. 父・母 6. 祖父・祖母 7. その他
---------------	--

表2 今後の住まいの意向	1. 震災当時の住居に住みたい(住んでいる) 2. 震災当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい(住んでいる) 3. 南相馬市内(震災当時の地区以外)に住みたい(住んでいる) 4. 現時点では、まだ判断がつかない 5. 南相馬市以外の場所に住みたい(住んでいる)
-----------------	--

表3 住みたい時期 (表2で1～3を選んだ方のみ回答)	1. 既に住んでいる 2. 1年以内に住みたい 3. 3年以内に住みたい 4. 5年以内に住みたい 5. 5年後以降
-----------------------------------	--

以上でご回答いただく内容は終わりです。

ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済みの調査票を入れて、

12月16日(月)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

**南相馬市 住民意向調査
報告書**

令和2年3月

復興庁 福島県 南相馬市

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

